



Neb:o

EasyPit

イージーピット

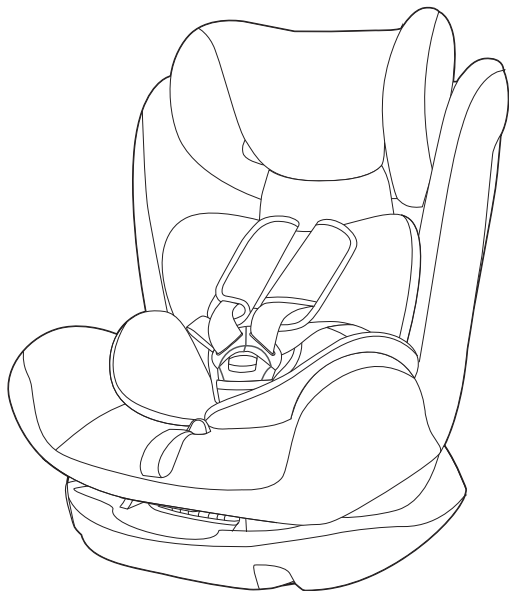
取扱説明書

保証書付き

対象年齢
0～11歳頃

対象体重
～36kg

グループ0+、1、2、3
ECE R44/04 適合



ご使用いただく前に

この度は「チャイルドシート EasyPit<イージーピット>」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しくご使用ください。
お読みになったあとも、本体背面の収納ポケット(メッシュ)にて大切に保管してください。

- ・本製品は UN ECE R44/04 において認証された汎用型(ユニバーサル)チャイルドシートです。
- ・UN/ECE 規則 NO.16 に準拠している、またはその他同等の基準を満たしている3点式ベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。
車種適合表につきましては下記 URL より確認してください。
<http://www.nebio.jp/childseat/>
※車種適合表一覧は適宜更新しております。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは必ず保護者の方が同乗してください。

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を「**危険**」、「**警告**」、「**注意**」の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

目次

■ ご使用いただく前に	1	■ 肩ベルトの高さ調節・位置の目安	21
■ 表示について	1	■ 肩ベルト位置の目安	22
■ 目次	2	■ 肩ベルトの高さ調節方法	23
■ 安全にご使用いただくために	4	■ バックルの取付け・取外し方法	27
■ 取付けできる座席	7	■ インナークッションの調節	
■ 取付けできない座席	8	■ インナークッションの各部の名称	29
■ シートベルトの種類と確認	9	■ ヘッドレストクッションの取外し方法	30
■ お子さまの体重に合わせた使用方法	11	■ インナークッションの取外し方法	31
■ 各部の名称	13	■ ソフトパッドの取出し方法	32
■ リクライニングの操作方法	15	■ ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法	
■ 肩ベルトの長さ調節		■ 車両に取付ける前の準備	33
■ 肩ベルト・腰ベルトをゆるめる	17	■ 車両への取付け方法	34
■ 肩ベルト・腰ベルトをしめる	18	■ 乗車前のチェックリスト	40
■ ヘッドレスト(肩ベルト)の調節方法		■ お子さまを乗せる前の準備	41
■ 調節方法	19	■ お子さまの乗せかた	42
■ 肩ベルト位置の目安	20	□ 肩ベルトの高さの確認・調整	45
		□ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	46
		■ 走行前のチェックリスト	47

目次

■ チャイルドシートモード(進行方向前向き)の使用方法	
■ 車両に取付ける前の準備	49
■ 車両への取付け方法	50
■ 乗車前のチェックリスト	55
■ お子さまを乗せる前の準備	56
■ お子さまの乗せかた	57
□ 肩ベルトの高さの確認・調整	60
□ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	61
■ 走行前のチェックリスト	62
■ 肩ベルト・肩ベルトパッド・バックル	
■ 取外し方法	63
■ 取付け方法	69
■ ジュニアシートモード(進行方向前向き)の使用方法	76
■ お子さまを乗せる前の準備	77
■ お子さまの乗せかた	78
■ 走行前のチェックリスト	80
■ インナークッションのお手入れ	
■ 各部の名称	81
■ 洗濯方法	82
■ ソフトパッドカバーの取付け方法	82
■ シートカバー	
■ シートカバーを外す前の準備	83
■ 取外し方法	
□ ヘッドレストカバー	83
□ 本体カバー	84
■ 取付け方法	
□ 本体カバー	87
□ ヘッドレストカバー	89
□ ヘッドレストクッション	90
■ ヘッドレストカバー・本体カバーのお手入れ	
■ ヘッドレストカバー・本体カバーの洗濯方法	91
■ 本体と肩ベルト・腰ベルトのお手入れ	92
■ バックルのお手入れ	92
■ 製品情報	
■ 本体サイズ	93
■ 材質	93
■ 保管方法	94
■ 廃棄方法	94
■ 取扱説明書の保管方法	94
■ 保証書	97

安全にご使用いただくために



危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、大変危険です。
- 使用条件に適合しないお子さまや、取付けできない座席などでは使用しないでください。
- 車両の座席の種類などにより、取扱説明書通りにチャイルドシートを固定できない場合は、使用しないでください。
- お子さまがチャイルドシートの上に立ち上がったり、中腰になったりしないように注意してください。
- **ベビーシートモード、チャイルドシートモードでご使用される場合は**、肩ベルトと腰ベルトが正しく装着され、左右のバックルタンクが差し込まれていることを確認してください。
- **ジュニアシートモードでご使用される場合は**、お子さまを座らせた時に、車両側のシートベルトが正しい位置で調節されていることを確認してください。
- 車に取付ける時は、車両シートベルトを取扱説明書及び本体表示に従い、正しく通して取付けてください。誤った部分を通して取付けないでください。
- 車に取付ける時は、必ず車両のシートベルトで固定してください。
ひもなど、車両のシートベルト以外のものでは固定しないでください。



緊急時

緊急時は、保護者の方がバックルの赤いボタンを押し、肩ベルト・腰ベルトを(ジュニアシートモードの場合は、車両シートベルト)を外してすみやかにお子さまを解放し、車外に脱出させてください。

安全にご使用いただくために



警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・肩ベルト・腰ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください、ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。肩ベルト・腰ベルトは正しい長さに調節してください。
- ・車両シートベルトに傷等がある場合は、その座席に取付けないでください。
- ・衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・お子さまがバックル解除ボタンを押してしまう可能性があります。バックルタンクがバックルから外れていないことを確認してください。外れていると落下や、ベルトが首に巻き付くおそれがあります。
- ・チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- ・短時間でもお子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者の方が同乗してください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合、必ず肩ベルトガイドを使用してください。
衝突時、車両シートベルトが肩から外れて危険です。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合、肩ベルトガイドは肩と同じ位の高さになるように調節し、車両シートベルトがお子さまの体にあうようにして使用してください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合、チャイルドシート固定機能付きシートベルトの時は、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸部が圧迫されます。



警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたす場合は、助手席に取付けないでください。
- ・2ドアや3ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席には取付けないでください。
- ・お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。



注意

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- 直射日光があたると、本体が熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。
日差しが強い日は、日陰に駐車するか、チャイルドシートに付属のカバーをかけてください。
また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- 走行中はチャイルドシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないよう注意してください。
- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒して怪我の原因になります。
本書に記載されていない使いかたをしないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないよう、十分注意してください。
- チャイルドシートの改造や不当な修理は絶対にしないでください。
- お子さまだけの乗り降りはさせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- シートカバーなどの縫製部分を外したまま使用しないでください。
また、本製品以外のものと取替えたりしないでください。
(衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります)
- **車両の座席に、クッションや座布団を敷いてチャイルドシートを取付けないでください。**
チャイルドシートがしっかり固定されません。
- 座席の表皮素材(皮など)及び、形状によっては、取付けた車両の座席に傷がつくおそれがあります。
- チャイルドシートを雨風にさらさないでください。
- 固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時、お子さまに当たるおそれがあります。
- 使用歴のわからない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。

取付けできる座席

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取付けかたが異なったり取付けられない場合があります。

本製品は UN/ECE 規則 NO.16 に準拠している、またはその他同等の基準を満たしている3点式シートベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。

※車種適合表は下記 URL より確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

車種適合表一覧は適宜更新しております。



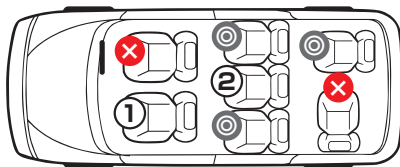
危険

3点式シートベルト以外の座席では絶対に使用しないでください。



使用可能なシートベルト

- 3点式手動調節シートベルト
- 3点式巻取り装置付きシートベルト



正しい設置位置



① エアバッグが装備されていなければ設置可能



誤った設置位置



② 3点式シートベルトがある場合のみ設置可能



警告

2点式シートベルトの座席では使用できません。

取付けできない座席

本製品は、前座席、後部座席共に取付け可能ですが、より安全な後部座席への取付けをおすすめします。
※助手席への取付けは、エアバッグの有無にかかわらずおすすめできませんので、適合調査は行っていません。

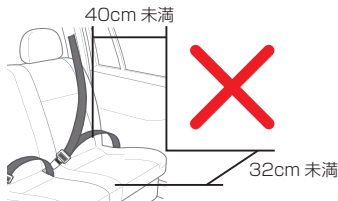


注意

下記条件のいずれか 1 つでもあてはまる場合は、その座席への設置・使用は不可

※下記条件の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合、設置・使用はしないでください。

- シートベルトが付いていない座席。
- 進行方向に対して、横向きまたは後向きの座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- パッシブシートベルトの付いた座席 ※パッシブシートベルトとは…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置(オートマチックシートベルト)
- エアバック装備の座席 ※サイドエアバッグのみの場合には使用可能です。
- 極端なバケットシート ※座面の中央部分が深く凹んでいる座席。
- シートベルトの取付け幅(シートベルトが座席の端に当たっている所から、バックルの付根までの長さ)が 32cm 未満の座席。
- 座席の凹凸が極端で、取付けた時に不安定になる座席。
- 座面の奥行きが 40cm 未満の座席。
- シートベルトが座席中間から出ている座席 ※チャイルドシートのシートベルト通し穴の位置より前方向からシートベルトが出ている座席。



シートベルトの種類と確認



注意

シートベルトの種類により取付けができない場合があります。
シートベルトの種類は、車両の取扱説明書を確認してください。



ポイント

車種適合表につきましては下記 URL より確認してください。
<http://www.nebio.jp/childseat/>

シートベルトの種類と特徴		取付け方法と注意事項	
種類	特徴	ベビーシートモード チャイルドシートモード	ジュニアシートモード
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし勢いよく引くとロックします。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。	
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとシートベルト固定機能が働き、それ以上伸びなくなります。	チャイルドシートの取付けが終わったら、シートベルトを全て引き出した後ベルトを戻し、チャイルドシート固定機能をきかせてください。	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除して取付けてください。

シートベルトの種類と特徴		取付け方法と注意事項	
種類	特徴	ベビーシートモード チャイルドシートモード	ジュニアシートモード
NR	巻き取り装置のついていないシートベルト。	チャイルドシートにあわせてシートベルトの長さを調節してチャイルドシートに取付けてください。	
NLR	ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。		
ALR	シートベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなります。	シートベルトを途中でロックさせないよう、全てのシートベルトを引き出してから取付けてください。	本製品は使用できません。
その他	上記特徴にあてはまらないもの	本製品は使用できません。	

お子さまの体重に合わせた使用方法

本製品はお子さまの体重に合わせて3つのモードで使用します。
ECE R44/04 に合格

体重の条件	ベビーシートモード 2.5 ~ 13kg 未満	チャイルドシートモード 9 ~ 18kg	ジュニアシートモード 15 ~ 36kg
使用の状態			
取付け方法	車両シートベルト+バックル		車両シートベルト
使用条件	進行方向後向き バックル使用 ※生後6ヵ月未満のお子さまは、 ヘッドレストクッション・ インナークッションを 使用してください。	進行方向前向き バックル使用	進行方向前向き バックル使用不可 車両シートベルト使用 ※車両シートベルトがお子さまの 首にかかる場合は使用不可



警告

体重が 9kg 未満のお子さまを乗せる場合は、**【進行方向後向き】**で使用してください。進行方向前向きでは絶対に使用しないでください。
進行方向後向きで使用する場合は、リクライニング角度を【4】にあわせてください。



危険

体重が 15 ～ 18kg はチャイルドシートモード・ジュニアシートモードのどちらでも使用可能ですが、ジュニアシートモードで使用して、車両シートベルトがお子さまの首にかかる場合はチャイルドシートモードで使用してください。

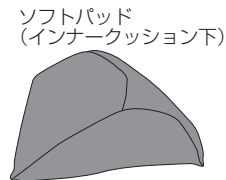
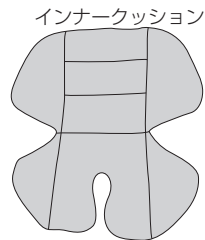
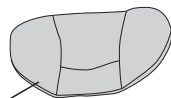
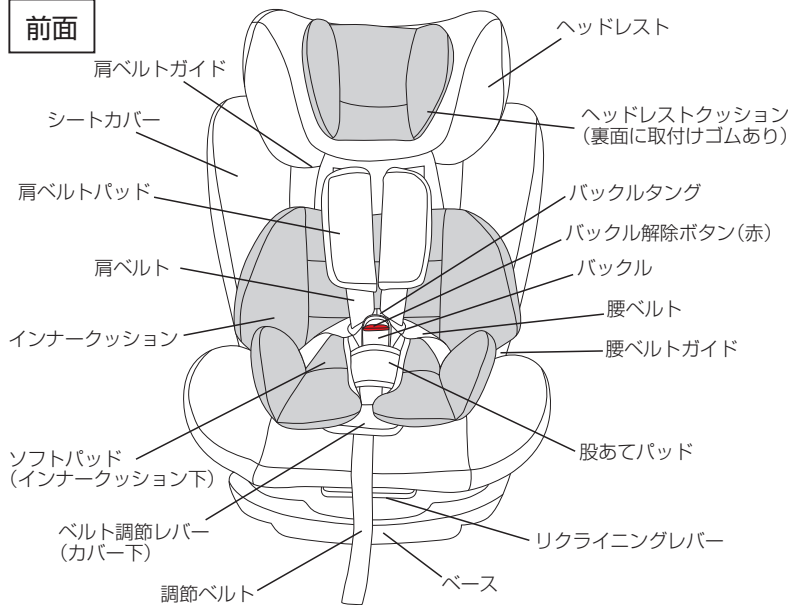


警告

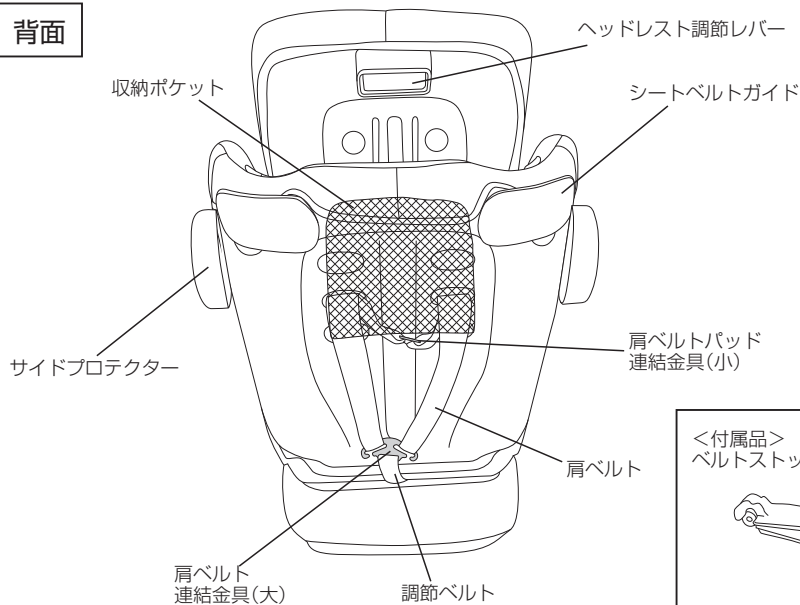
本製品のヘッドレストクッション・インナークッションを誤って取扱いと本来の機能をはたさず、大変危険です。また、取外したインナークッション・ヘッドレストクッションは車内に放置しないでください。車内に転がって運転の妨げになり大変危険です。

各部の名称

前面



背面



<付属品>
ベルトストッパー

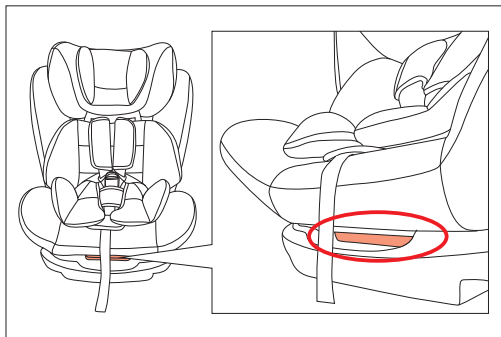


リクライニングの操作方法

本製品はお子さまの成長に合わせて、4段階角度を調節することができます。



動画で解説
リクライニング
の操作方法



①本体前側裏面にあるリクライニングレバー（白）を上【引き上げながら】シートのリクライニング角度を調節してください。

-  **ポイント**
- 【進行方向後向き】はリクライニング角度<4>で使用してください。
 - 【進行方向前向き】はリクライニング角度<1><2><3>で使用してください。



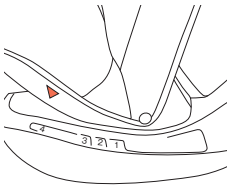
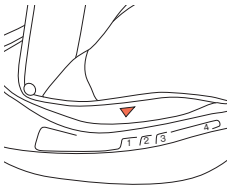
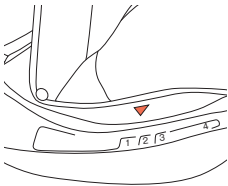
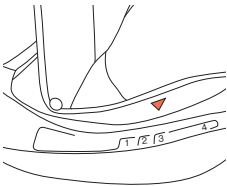
警告

- お子さまを座らせた状態でリクライニング操作をしないでください。
 - 操作後、シートが固定されていることを確認してください。
- ※衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。



危険

- リクライニング操作時は、お子さまの指や手を近づけないよう十分注意してください。手や指などがはさまれ、けがをするおそれがあります。また、同乗者の手元も同様に十分注意してください。
- ゴミや飲食物が入ると故障の原因になります。

進行方向後向き	進行方向前向き		
体重 2.5 ～ 13kg 未満	体重 9 ～ 36kg		
 4	 1	 2	 3
 注意	お子さまの体重が9kg 未満の場合、進行方向前向きで絶対に使用しないでください。		

肩ベルトの長さ調節



警告

- かさばった服を着せたまま、使用しないでください。
- 肩ベルトと腰ベルトを正しい位置に装着してください。



ポイント 肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません。

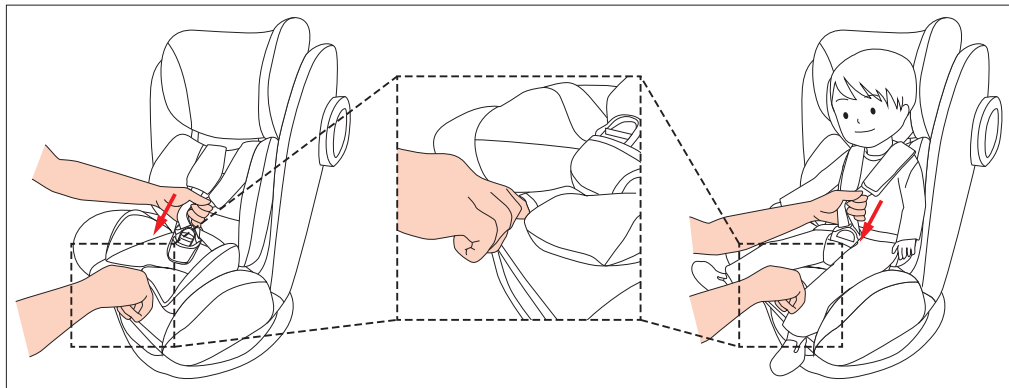


動画で解説

肩ベルトの
長さ調節

肩ベルト・腰ベルトをゆるめる

①ベルト調節レバーを片手で押しながら、もう片方の手で左右の肩ベルトを引っ張ります。



■ 肩ベルト・腰ベルトをしめる

①肩ベルト・腰ベルトにゆりみがないか確認して調節ベルトを引っ張ってください。

※肩ベルトと腰ベルトのゆりみは大変危険です。お子さまと肩ベルトのすきまは、手のひらが入る程度に調節してください。

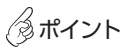


危険

- 必ず肩ベルトと腰ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまがシートから飛び出すおそれがあります。
- 肩ベルトと腰ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。

ヘッドレスト(肩ベルト)の調節方法

調節方法



ポイント

ヘッドレストの調節は肩ベルトをゆるめてから行う必要があります。

※肩ベルトの調節は P17 を参照してください。

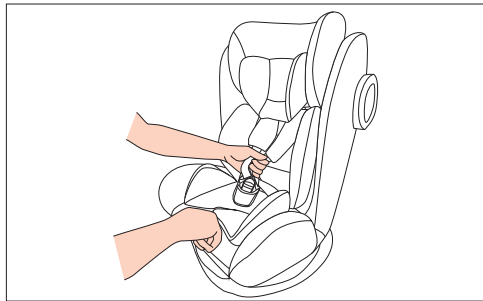


動画で解説

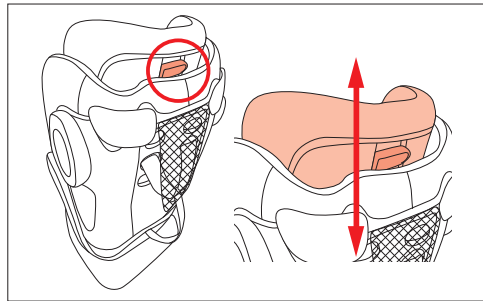
ヘッドレスト
(肩ベルト)の
調節方法

① **ヘッドレストを高くする準備として**肩ベルトをゆるめます (P17 参照)。

※肩ベルトをゆるめる際、肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません。



② ヘッドレスト調節レバーを上へ引き上げながら、肩ベルトを正しい高さに調節してください。

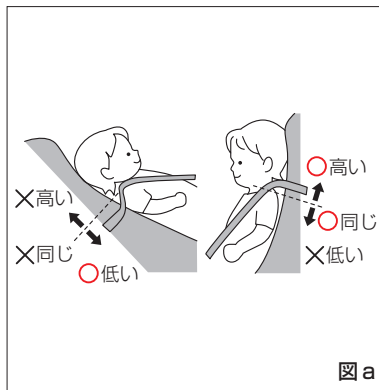


③ 適切な位置でヘッドレスト調節レバーから手を離してください。

④ ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認してください。

肩ベルト位置の目安

ヘッドレストを適切な位置に調節してください。
その目安はお子さまの肩とヘッドレストのすきまに指が一本くらいとなります(図b 参照)。



肩ベルトの高さ調節・位置の目安

 ポイント 肩ベルトの位置は3段階で調節可能です。



 動画で解説

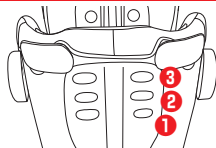
肩ベルトの
高さ調節・位置
の目安



警告

①の位置はお子さまの体重が 2.5 ～ 13kg 未満で使用してください。

※窮屈に感じたら、お子さまの成長にあわせて肩ベルトの位置を調節してください。

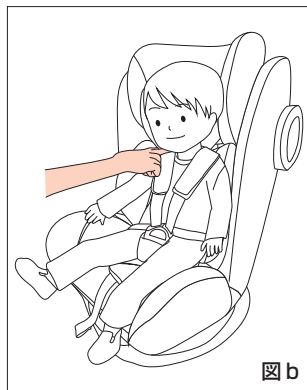
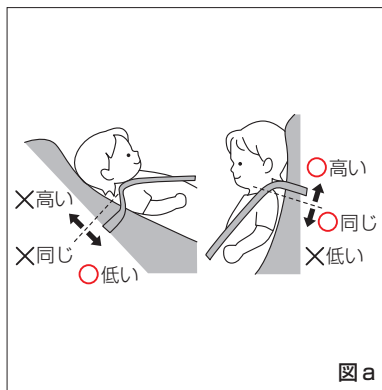


注意

ヘッドレストと肩ベルトの高さは進行方向によって異なります。
肩ベルトは図 a の位置を目安に調節してください。

肩ベルト位置の目安

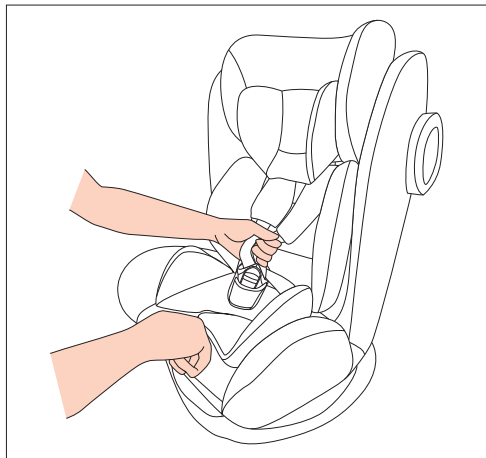
ヘッドレストを適切な位置に調節してください。
その目安はお子さまの肩とヘッドレストのすきまに指が一本くらいとなります(図b 参照)。



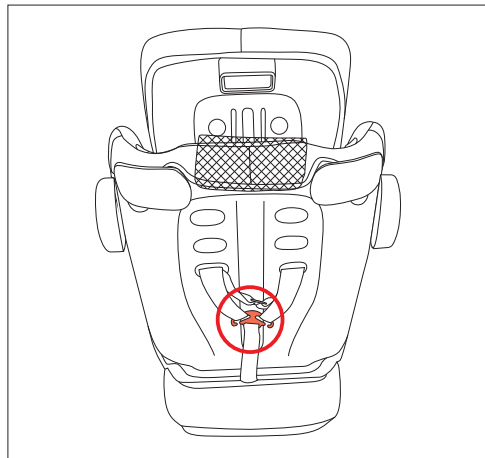
肩ベルトの高さ調節方法

①ヘッドレストを高くする準備として肩ベルトをゆるめます (P17 参照)。

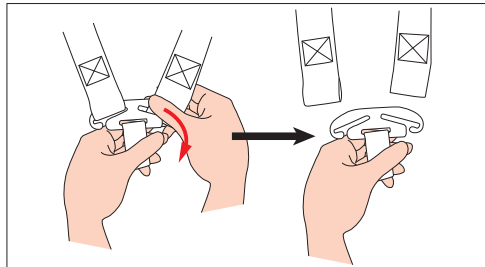
※肩ベルトをゆるめる際、肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません。



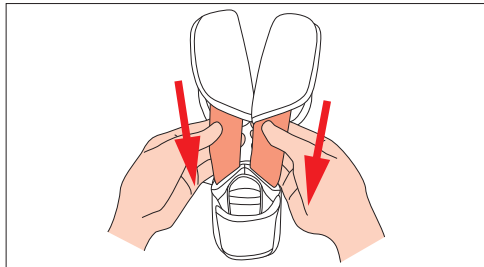
②本体背面の肩ベルト連結金具(大)の確認をしてください。



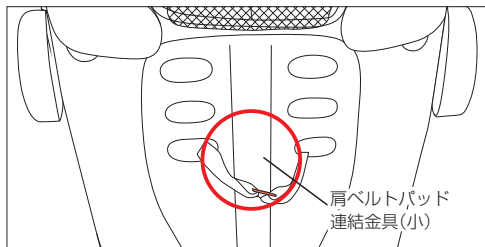
③肩ベルト連結金具(大)より、左右の肩ベルトを外してください。



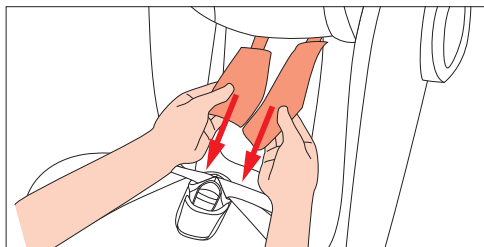
④前側より、肩ベルトを手前に引き抜いてください。



⑤背面の肩ベルトパッド連結金具(小)より、右側の肩ベルトパッドを外してください。



⑥前側より、肩ベルトパッドを手前に引き抜いてください。



 **ポイント** お子さまの肩の位置を確認してください。



ポイント

肩ベルトパッド連結金具(小)は正面向かって右側にしてください。

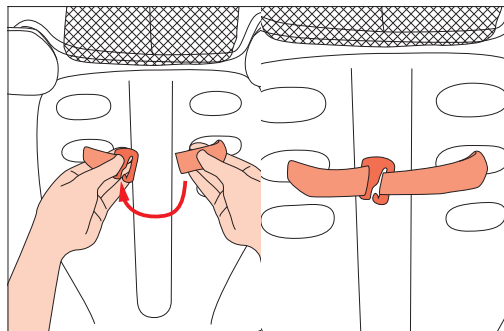
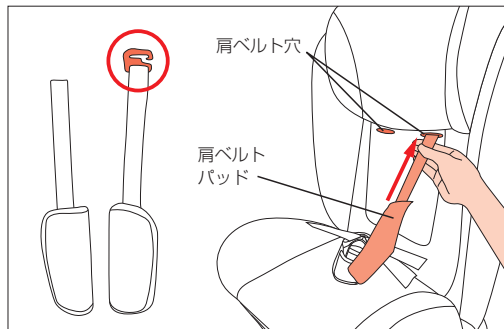
⑦お子さまの肩の位置を確認後、本体の肩ベルト穴に、左右の肩ベルトパッドを前側から背面側に向かって通してください。



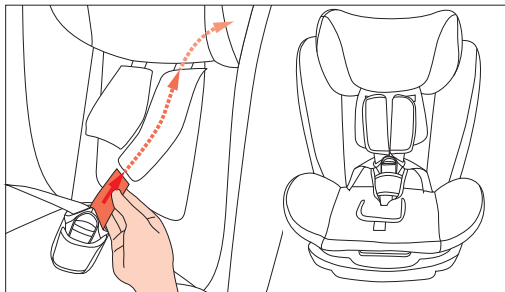
警告

連結金具が外れないことを必ず確認してください。

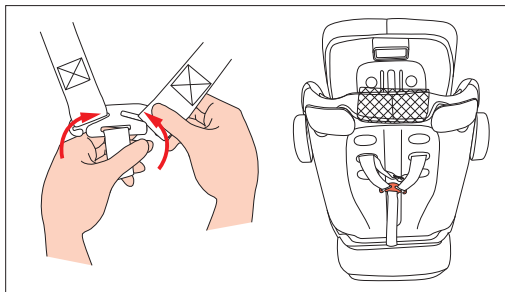
⑧連結金具(小)を引っかけるようにして留めてください。



⑨左右の肩ベルトを肩ベルトパッド→本体の肩ベルト穴の順に前側から背面側に通してください。



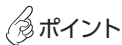
⑩連結金具（大）に引っかけるようにして左右の肩ベルトを留めてください。



警告

- 肩ベルトを通す際、ベルトがねじれないように注意してください。
- 連結金具が外れないことを必ず確認してください。

バックルの取付け・取外し方法



ポイント

- バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないように安全上、固くしております。
- バックルタングは左右、組み合わせてからバックルに差し込んでください。
※組み合わせないと差し込めません。
- バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まらないよう注意してください。



動画で解説

バックルの
取付け・取外し
方法

①バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外します。

②お子さまをチャイルドシートに深く座らせます。

※インナークッション・ソフトパッドを使用する際は、各クッションにあわせてお子さまを深く座らせてください。

③お子さまの左右の腕を肩ベルトに通します。



注意

※左右の肩ベルトがねじれていないことを確認してください。※

④左右のバックルタングを組み合わせてください(図 a・図 b 参照)。

⑤組み合わせてから「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください(図 c 参照)。

※バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まらないよう注意してください。

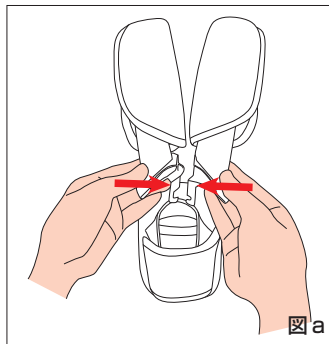


図 a

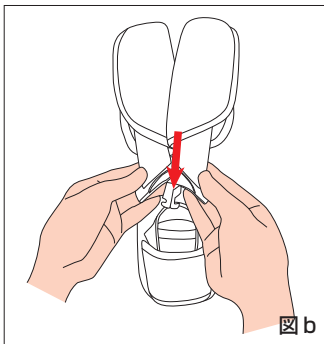


図 b

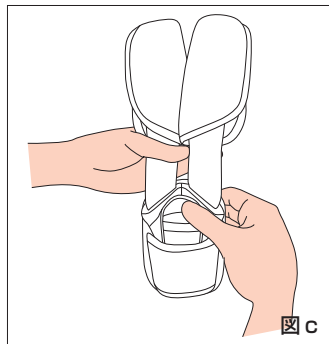
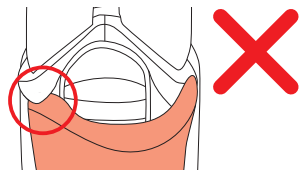


図 c



注意

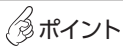
バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まらないよう注意してください。



警告

- タングを差し込んだ際、抜けないか必ず確認してください。
- タングを差し込んで、「カチッ」と音がしない場合は、絶対に使用せず当社まで連絡してください。

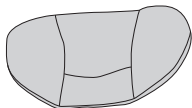
インナークッションの調節



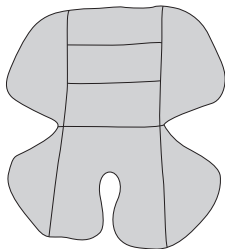
ポイント

- ・生後6ヵ月頃までは全てのインナークッションの使用を推奨します。
- ・使用中、窮屈に感じたらお子さまの成長や体格にあわせてインナークッションを調節してください。

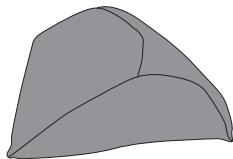
インナークッションの各部の名称



●ヘッドレストクッション
※裏面に取付けゴムあり



●インナークッション

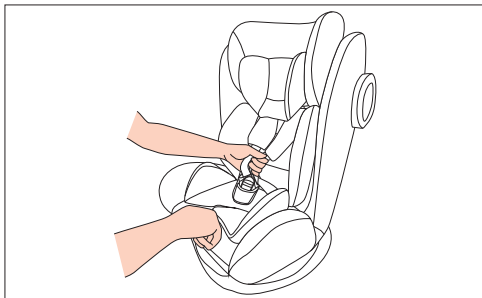


●ソフトパッド

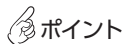
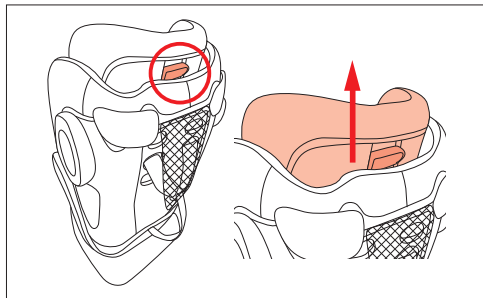
ヘッドレストクッションの取外し方法

①ヘッドレストを高くする準備として肩ベルトをゆるめます (P17 参照)。

※肩ベルトをゆるめる際、肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません。

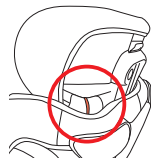


②ヘッドレスト調節レバーを上引き上げながら、ヘッドレストを1番高い位置に固定してください (P19 参照)。



ポイント

ヘッドレストクッションは取付けゴムで取付けてあります。
ヘッドレストを1番高い位置で固定して頂くとゴムの取外し等の操作が
しやすくなります。

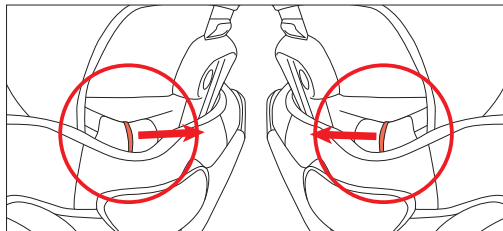




注意

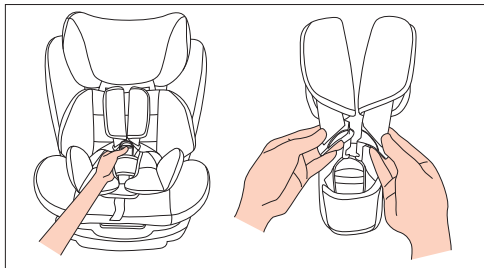
無理に引っ張って、ゴムが切れないよう注意してください。

③左右の肩ベルトガイドに引っ掛けている、ヘッドレスト取付けゴムを外してください。

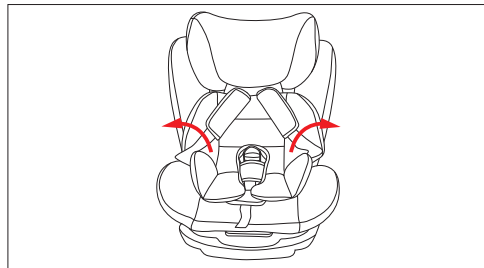


インナークッションの取外し方法

①バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外します。



②肩ベルトを外側に移動し、インナークッションを取外してください。

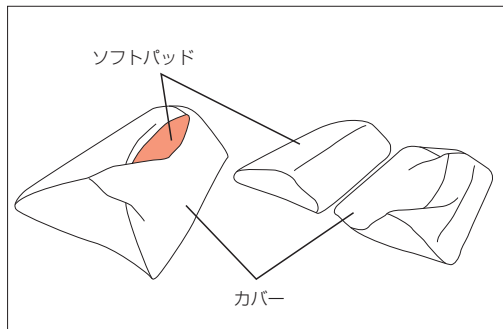


警告

インナークッションは、必ず正しい向きで使用してください。
向きが異なっていると、製品所定の安全機能を発揮できないおそれがあります。

■ ソフトパッドの取出し方法

- ①ソフトパッドはカバーから取出すことができます。
※洗濯の際は、必ず取出してから洗濯してください。



注意

洗濯時、ソフトパッドはカバーより取出し、カバーは手洗いで洗濯してください。
※ソフトパッドは洗濯できません。



警告

インナークッションは、必ず正しい向きで使用してください。
向きが異なっていると、製品所定の安全機能を発揮できないおそれがあります。

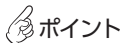
ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法

車両に取付ける前の準備



注意

シートベルトの種類により取付けできない場合があります。
シートベルトの種類は、車両の取扱説明書を確認してください。



ポイント

- 車種適合表は下記 URL (ネビオ公式サイト) より確認してください。
<http://www.nebio.jp/childseat/>
- 車両側のヘッドレストとチャイルドシートが干渉して、チャイルドシートが正しく取付けられない場合は、車両側のヘッドレストを最上段に固定するか、取外してください。

使用条件

- お子さまの体重が9kg 以上になるまでは必ず進行方向後向きで使用してください。
- お子さまの体格が あえば、体重 13kg 未満でも進行方向後向きで使用可能です。
- 生後6ヵ月未満のお子さまは、ヘッドレストクッション・インナークッションを使用してください。窮屈に感じたらお子さまの成長にあわせて調節してください。

- ☐ バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタンクを外してください(P27 参照)。
- ☐ インナークッション・ソフトパッドを取外してください(P31 参照)。
- ☐ シートのリクライニングを進行方向後向き【4】にしてください(P15 参照)。

車両への取付け方法

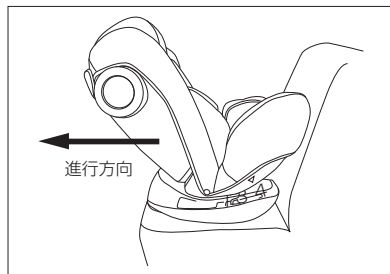


ポイント <車両に取付ける前の準備>を必ず確認してください。



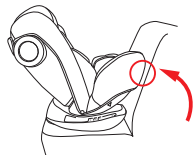
動画で解説
ベビーシートモード
車両への取付け方法

①チャイルドシートを車両進行方向に対して後向きに置いてください。

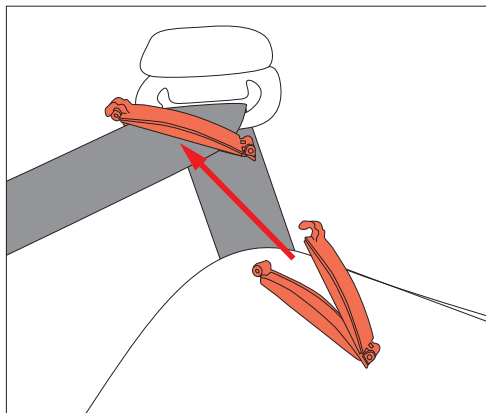


ポイント

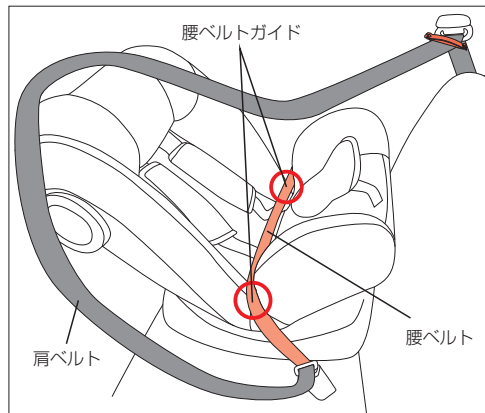
車両シートと、チャイルドシート本体が接していない場合は、車両シートのリクライニングを起こしてチャイルドシート本体と接するように調節してください。



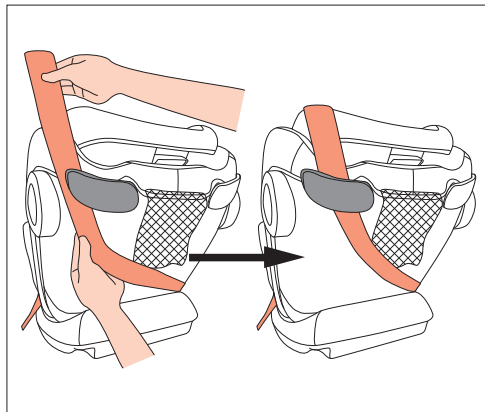
②設置する座席の車両シートベルトを全て引き出し、付属のベルトストッパーで巻き戻らないよう固定してください。



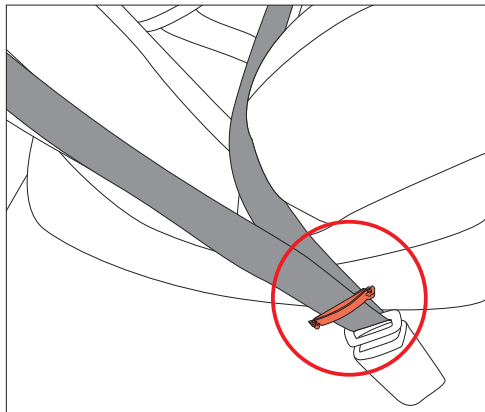
③車両シートベルトのタングを車両バックルに固定してください。※車両シートベルト（腰ベルト）は腰ベルトガイドに通してください。



④車両シートベルト(肩ベルト)をチャイルドシートの背面にまわし、車両バックルと反対側のシートベルトガイドに通してください。



⑤ベルトストッパーを車両バックル付近に付け替えてください。**※引き出している車両シートベルトは戻してください。**

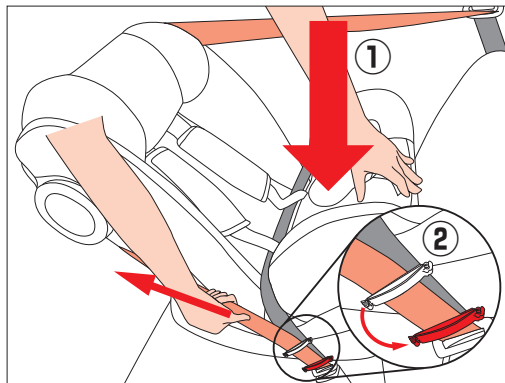




警告

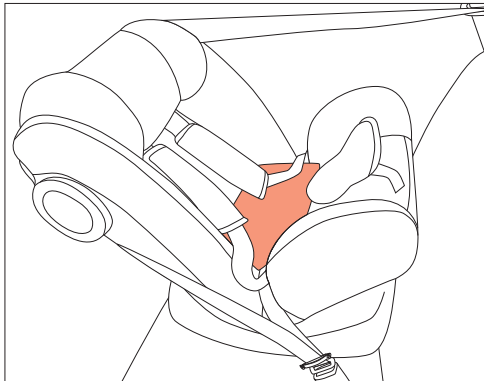
車両シートベルトにねじれがない事を確認しながら作業してください。

⑥ チャイルドシートに体重をかけながら、車両シートベルト（肩ベルト）を引き、ベルトストッパーを車両タングに接する所に付け替えてください。

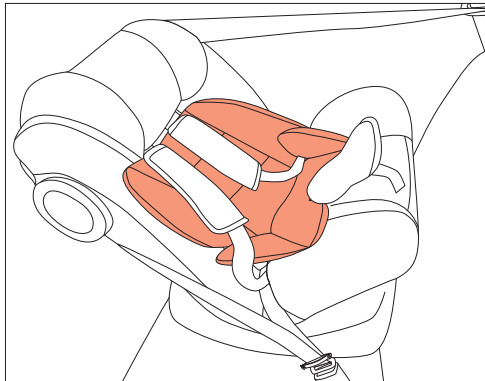


⑦車両シートベルトで取付け完了後、各インナークッションを戻してください。

⑦-a ソフトパッドを戻してください。



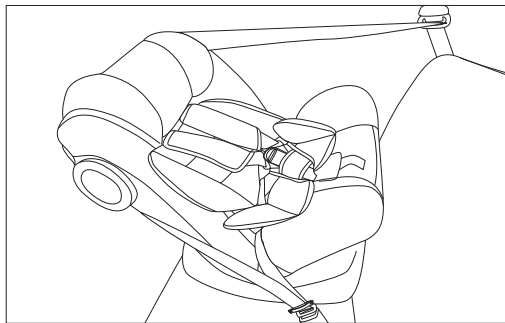
⑦-b インナークッションを戻してください。



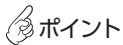


注意

バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まらないよう注意してください。

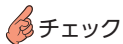
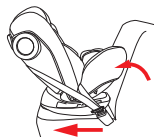


⑧チャイルドシートのバックルタングを「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。



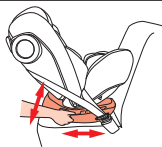
ポイント

車の座席がスライドや、リクライニングが可能な場合座席を前にスライドさせたり、車両シートの背もたれのリクライニングを起こすことで、より強くチャイルドシートが固定されます。



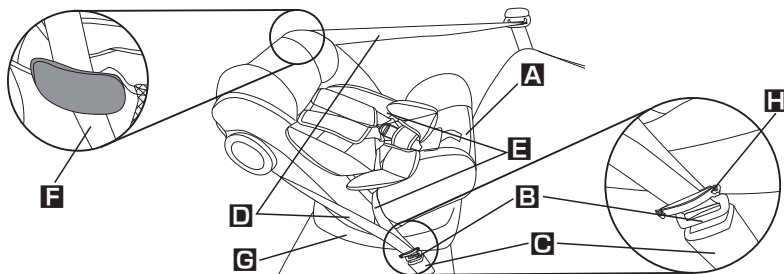
チェック

取付け完了後、チャイルドシートのベース側面部分を前後左右にゆすり、約3 cm 以上の「ぐらつき」がある場合は、もう一度取付け手順に従って取付け直ししてください。



乗車前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** チャイルドシートが車両背もたれに接していること。
- ☐ **B** 車両タングが、車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込まれていること。
- ☐ **C** 車両バックルベルトにゆるみがないこと。
- ☐ **D** 車両シートベルトにたるみ・ゆるみ・ねじれがないこと。
- ☐ **E** 車両シートベルト(腰ベルト)が左右の腰ベルトガイドを通過していること。
- ☐ **F** 車両シートベルト(肩ベルト)が車両バックルと反対側のシートベルトガイドを通過していること。
- ☐ **G** ベースの側面部分を前後左右にゆすり、約 3cm 以上の「ぐらつき」がないこと。
- ☐ **H** ベルトストッパーが車両タングに接するよう取付けられていること。

お子さまを乗せる前の準備



警告

お子さまの体重が9kg 以上になるまでは、必ず進行方向後向きで使用してください。

使用条件

- お子さまの体重が9kg 以上になるまでは必ず進行方向後向きで使用してください。
- お子さまの体格があれば、体重 13kg 未満でも進行方向後向きで使用可能です。
- 生後6 ヶ月未満のお子さまは、ヘッドレストクッション・インナークッションを使用してください。窮屈に感じたらお子さまの成長にあわせて調節してください。



警告

- 本製品は、必ず車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
- ※お子さまを乗せた状態で、車に取付けないでください。
- お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

- ☐ ヘッドレストクッション・インナークッションがついているか確認。
※窮屈な場合はソフトパッドを外してください(P32 参照)。
- ☐ 本製品が正しく車に取付けできているか確認(P40 チェックリスト参照)。
- ☐ シートのリクライニングが進行方向後向き【4】になっているか確認(P15 参照)。

お子さまの乗せかた

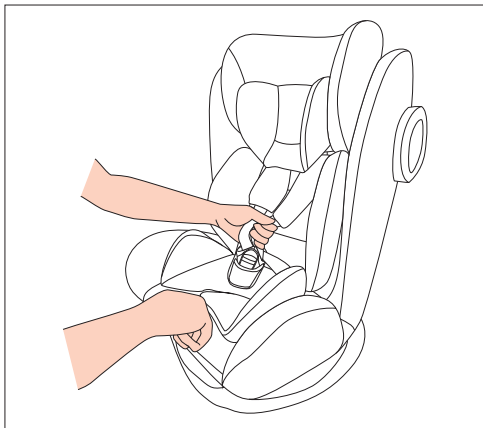


動画で解説

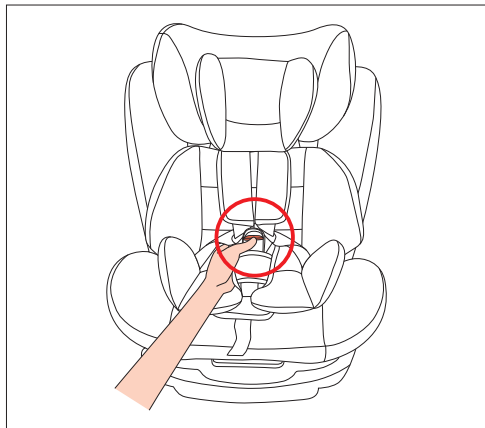
ベビーシートモード
お子さまの乗せかた

①肩ベルトをゆるめてください。

※肩ベルトパッドを引っ張っても肩ベルトは **ゆるみません**
(P17 参照)。



②バックル解除ボタン(赤)を押しバックルタングを外してください(P27 参照)。

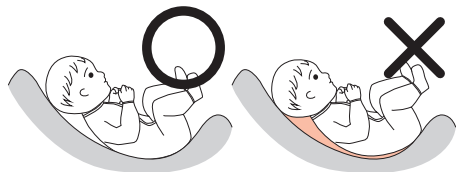


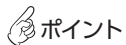
③お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお子さまの腕を通してください。



⚠ 危険

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてください。
誤った姿勢で乗せると、お子さまを正しく固定できず
急ブレーキや衝突時、お子さまが本製品より飛び出し
思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず正しい
姿勢で乗せてください。





ポイント

バックル解除ボタン（赤）はお子さまの力でも外れないように ECE R44/04 の安全基準に則り、固くしております。

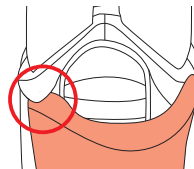
④左右の肩ベルトにねじれがないか確認し、左右のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。

※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込まず、肩ベルトをゆるめたり、インナークッション等で調節してください。



注意

バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まらないよう注意してください。



危険

バックル差し込み後は、必ずバックルタングが抜けない事を確認してください。

□ 肩ベルトの高さの確認・調整

⚠ 危険

肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまが肩ベルトで締めつけられるおそれがあります。お子さまを乗せて高さ調節する際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業してください(P21 参照)。

①お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図 a 参照)。

※調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業してください。

⚠ 危険

- ・進行方向後向きで使用する際は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください(図 a 参照)。
- ※お子さまの肩より高い位置で使用すると、お子さまが肩ベルトから抜け、思わぬ事故につながるおそれがあります。



図 a

⚠ 危険

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節してください。

肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

①肩ベルトとお子さまのすき間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(P18 参照)。

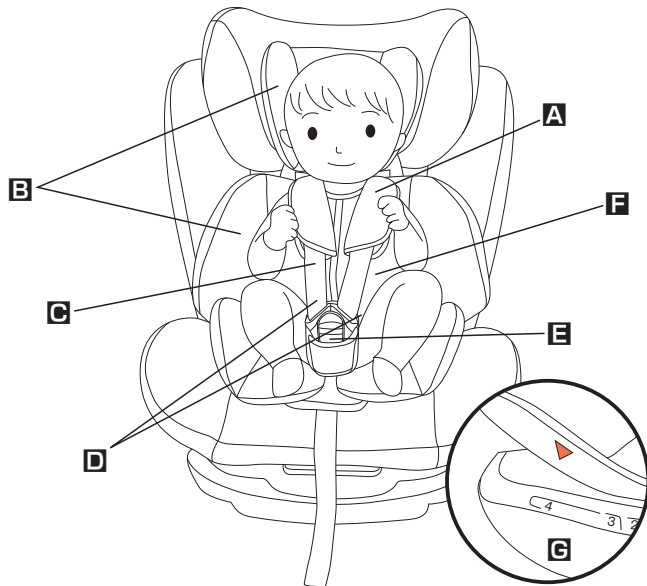


警告

- 必ず肩ベルトと腰ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまがシートから飛び出すおそれがあります。
- 肩ベルトと腰ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。

■ 走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- ☐ **B** ヘッドレストクッション・インナークッションが正しく取付けられていること。
- ☐ **C** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- ☐ **D** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- ☐ **E** 左右のバックルタングが「カチッ」と音がするまでバックルに差し込まれていること。
- ☐ **F** お子さまが正しい位置で座っていること。
- ☐ **G** リクライニング進行方向後向き【4】になっていること。



危険

肩ベルトの高さは、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください。

※お子さまの肩より高い位置で使用すると、お子さまが肩ベルトから抜け、思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

・ お子さまを降ろした際、必ずバックルタングはバックルに差し込んだ状態にしてください。

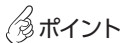
チャイルドシートモード(進行方向前向き)の使用方法

車両に取付ける前の準備



注意

シートベルトの種類により取付けできない場合があります。
シートベルトの種類は、車両の取扱説明書を確認してください。



ポイント

- 車種適合表は下記 URL (ネビオ公式サイト) より確認してください。
<http://www.nebio.jp/childseat/>
- 車両側のヘッドレストとチャイルドシートが干渉して、チャイルドシートが正しく取付けられない場合は、車両側のヘッドレストを最上段に固定するか、取外してください。

使用条件

- 子さまの体重が9kg 以上であること。
- お子さまの体格があれば、体重 13kg 未満でも進行方向後向きで使用可能です。
- チャイルドシートモードをご使用の場合には、必ずベルトストッパーを使用していただく必要があります。

- ☐ バックル解除ボタン(赤)を押しバックルタンクを外してください(P27 参照)。
- ☐ インナークッション・ソフトパッドを取外してください(P31 参照)。
- ☐ シートのリクライニングは【1】【2】【3】で調節してください(P15 参照)。

車両への取付け方法

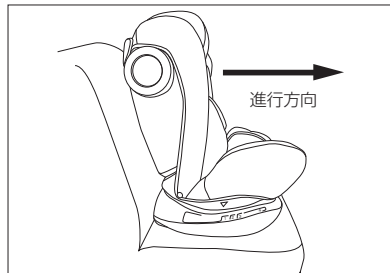


ポイント <車両に取付ける前の準備>を必ず確認してください。



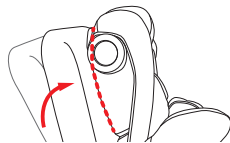
動画で解説
チャイルドシートモード
車両への取付け方法

①チャイルドシートを車両進行方向に対して前向きに置いてください。

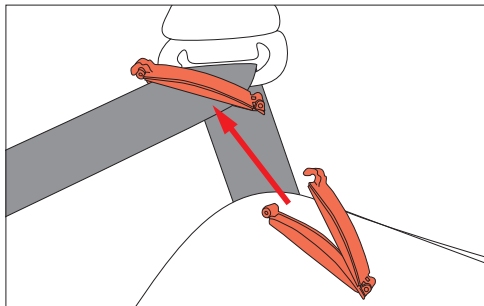


ポイント

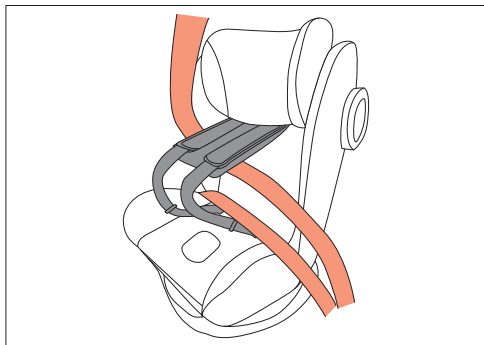
車両シートとチャイルドシート本体が接するように、車両シートのリクライニングを調節してください。



②設置する座席の車両シートベルトを全て引き出し、付属の**ベルト
ストッパー**で巻き戻らないよう固定してください。

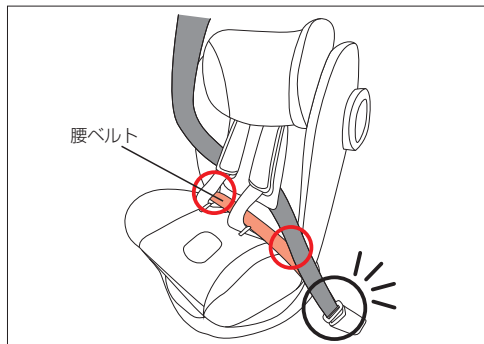


③車両シートベルト(肩・腰ベルト)はチャイルドシートの肩ベルトの後側に通してください。

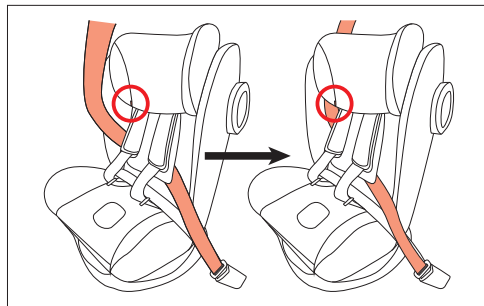


④車両シートベルトのタングを車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

※車両シートベルト(腰ベルト)はチャイルドシートの腰ベルトガイドに通してください。

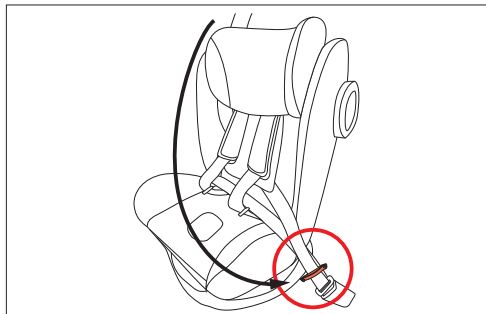


⑤車両シートベルト(肩ベルト)は車両バックルと反対側の肩ベルトガイドに通してください。

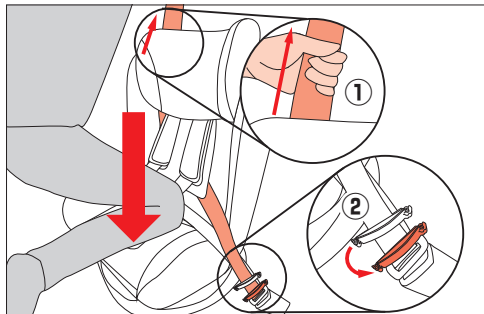


⑥ベルトストッパーを車両バックル付近に付け替えてください。

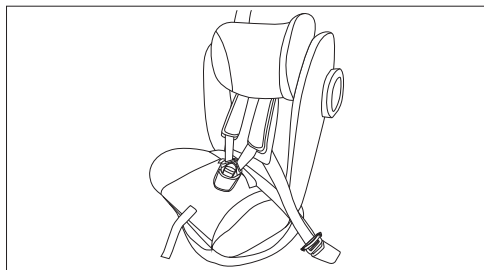
※引き出した車両シートベルトは戻してください。



⑦チャイルドシートに体重をかけながら車両シートベルト（肩ベルト）を引き、ベルトストッパーを車両タングに接する所に付け替えてください。

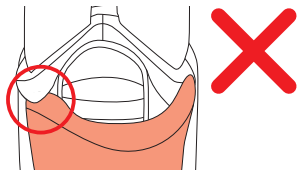


⑧チャイルドシートのバックルタングを「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。



⚠ 注意

バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まらないよう注意してください。

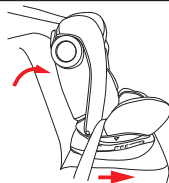


⚠ 警告

車両シートベルトにねじれがない事を確認しながら作業してください。

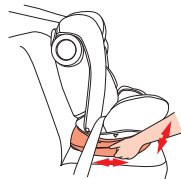
👉 ポイント

車の座席がスライドや、リクライニングが可能な場合座席を前にスライドさせたり、車両シートの背もたれのリクライニングを起こすことで、より強くチャイルドシートが固定されます。



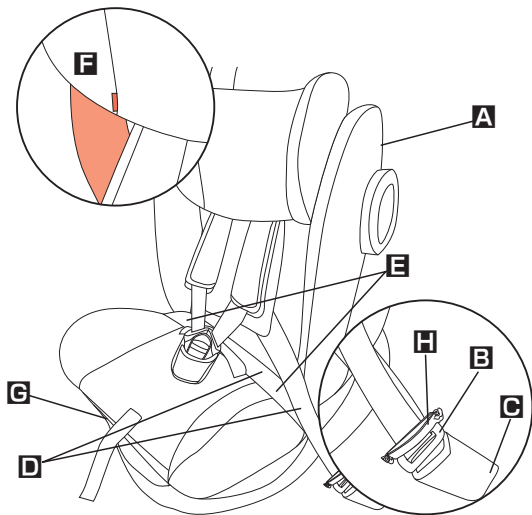
👉 チェック

取付け完了後、チャイルドシートのベース側面部分を前後左右にゆすり、約3cm以上の「ぐらつき」がある場合は、もう一度取付け手順に従って取付けし直してください。



乗車前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** チャイルドシートが車両背もたれに接していること。
- ☐ **B** 車両タングが、車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込まれていること。
- ☐ **C** 車両バックルベルトにゆるみがないこと。
- ☐ **D** 車両シートベルトにたるみ・ゆるみ・ねじれがないこと。
- ☐ **E** 車両シートベルト（腰ベルト）が左右の腰ベルトガイドを通っていること。
- ☐ **F** 車両シートベルト（肩ベルト）が車両バックルと反対側の肩ベルトガイドを通っていること。
- ☐ **G** ベースの側面部分を前後左右にゆすり、約3cm以上の「ぐらつき」がないこと。
- ☐ **H** ベルトストッパーが車両タングに接するよう取付けられていること。

お子さまを乗せる前の準備



警告

- 必ずお子さまの体重が9kg 以上になってから【進行方向前向き】で使用してください。
- チャイルドシートモードでご使用の場合には、必ずベルトストッパーを使用してください。

使用条件

- お子さまの体重が9kg 以上であること。
- お子さまの体格があえば、体重 13kg 未満でも進行方向後向きで使用可能です。
- チャイルドシートモードでご使用の場合には、必ずベルトストッパーを使用して頂く必要があります。



警告

- 本製品は、必ず車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
- ※お子さまを乗せた状態で、車に取付けないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

- ☐ 本製品が正しく車に取付けできているか確認(P55 チェックリスト参照)。
- ☐ インナークッション・ソフトパッドを取外してください(P31 参照)。
- ☐ シートのリクライニングは【1】【2】【3】で調節してください(P15 参照)。

お子さまの乗せかた

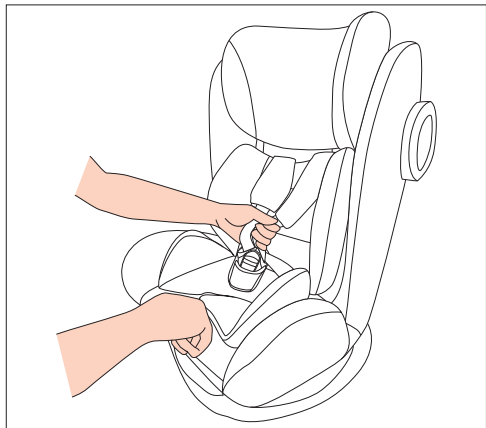


動画で解説

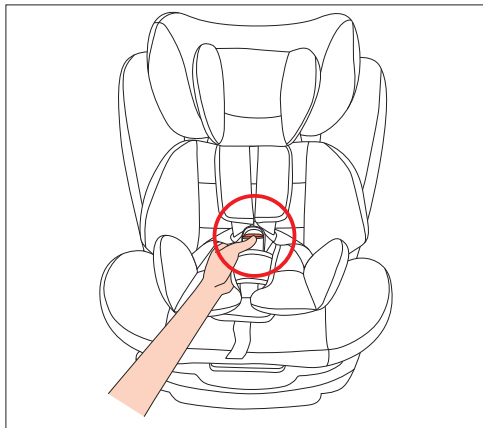
ベビーシートモード
お子さまの乗せかた

①肩ベルトをゆるめてください。

※肩ベルトパッドを引っ張っても肩ベルトは **ゆるみません** (P17 参照)。



②バックル解除ボタン (赤) を押しバックルタンクを外してください(P27 参照)。

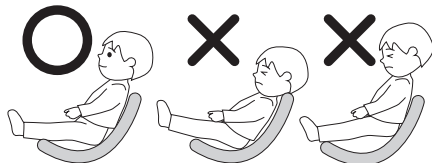


③お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお子さまの腕を通してください。



⚠ 危険

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてください。
誤った姿勢で乗せると、お子さまを正しく固定
できず急ブレーキや衝突時、お子さまが本製品より飛
び出し思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず
正しい姿勢で乗せてください。





ポイント

バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないように ECE R44/04 の安全基準に則り、固くしております。

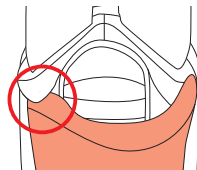
④左右の肩ベルトにねじれがないか確認し、左右のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。

※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込みず、肩ベルトをゆるめたり、インナークッション等で調節してください。



注意

バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まらないよう注意してください。



警告

バックル差し込み後は、必ずバックルタングが抜けない事を確認してください。

肩ベルトの高さの確認・調整

⚠ 危険

肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまが肩ベルトで締めつけられるおそれがあります。お子さまを乗せて高さ調節する際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業してください(P21 参照)。

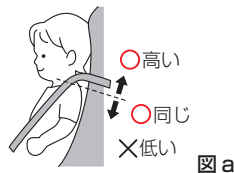
①お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図 a 参照)。

※調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業してください。

⚠ 危険

・進行方向後向きで使用する際は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください(図 a 参照)。

※お子さまの肩より高い位置で使用すると、お子さまが肩ベルトから抜け、思わぬ事故につながるおそれがあります。



⚠ 危険

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節してください。

□ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

①肩ベルトとお子さまのすき間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(P18 参照)。

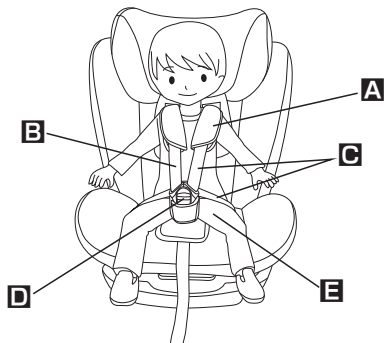


警告

- 必ず肩ベルトと腰ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまがシートから飛び出すおそれがあります。
- 肩ベルトと腰ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- ☐ **B** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- ☐ **C** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- ☐ **D** 左右のバックルタングが「カチッ」と音がするまでバックルに差し込まれていること。
- ☐ **E** お子さまが正しい位置で座っていること。



警告

バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないように、ECE R44/04の安全基準に則り固くしておりますがお子さまが成長すると、自身で外してしまうおそれがあります。バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。



危険

進行方向前向きで使用する際は、お子さまの肩よりも高いまたは同じ位置で使用してください。
※お子さまの肩より低い位置で使用されますと、装着時、不快になったり衝撃時、肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

- お子さまを降ろした際、必ずバックルタングはバックルに差し込んだ状態にしてください。

肩ベルト・肩ベルトパッド・バックル

取外し方法



ポイント

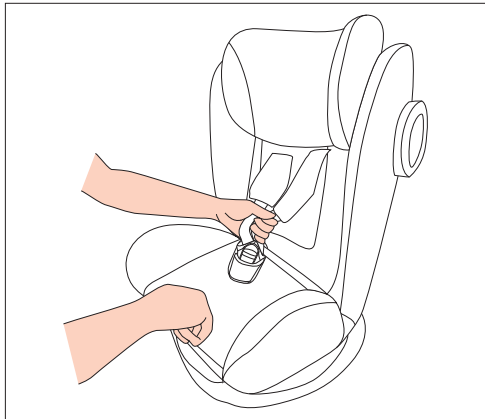
肩ベルトを外す際は、肩ベルトを長めに引き出しておくと作業しやすくなります。



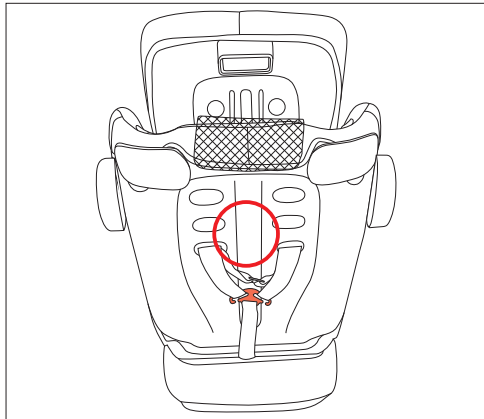
動画で解説

肩ベルト・
バックルの
取外し方法

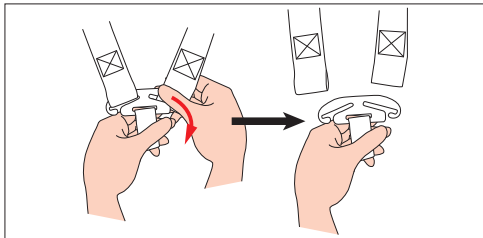
①肩ベルトをゆるめてください(P17 参照)。



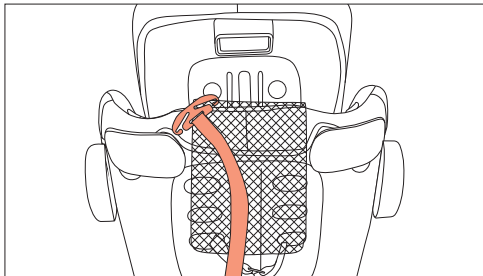
②本体背面の肩ベルト連結金具(大)の確認をしてください。



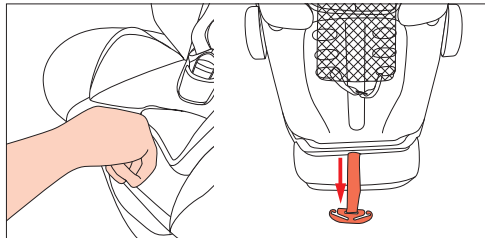
③肩ベルト連結金具(大)より、左右の肩ベルトを外してください。



⑤肩ベルト連結金具は背面の収納ポケットに引っ掛けてください。



④ベルト調節レバーを押しながら肩ベルト連結金具を引き出してください。



注意

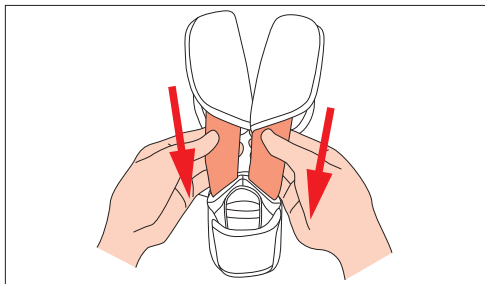
引っ張りすぎると調節ベルトが抜ける可能性があります。



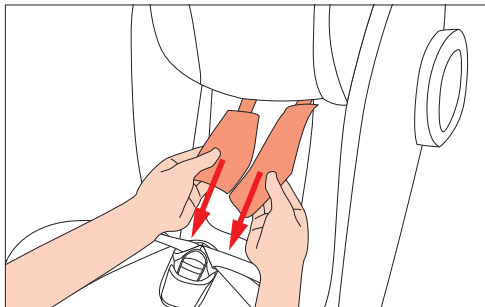
注意

肩ベルト連結金具を引っ掛けた状態で、調節ベルトを引っ張ると収納ポケットが破れるおそれがあります。取扱には注意してください。

⑤前側より、肩ベルトを手前に引っ張ってください。



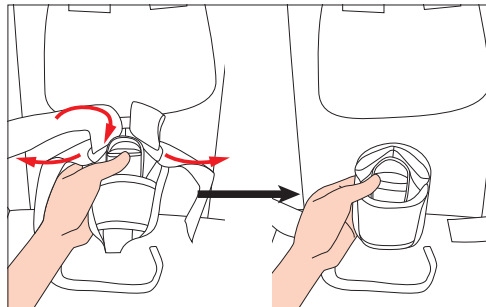
⑦前側より、肩ベルトパッドを手前に引っ張ってください。



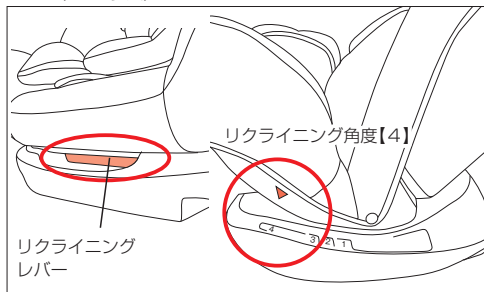
⑥背面の肩ベルトパッド連結金具（小）より、右側の肩ベルトパッドを外してください。



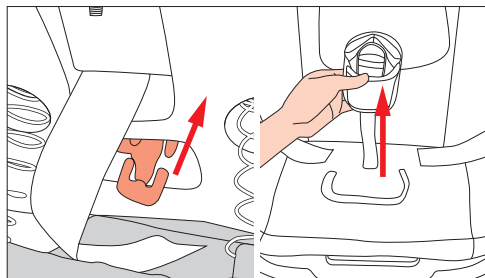
⑧左右の肩ベルトをバックルタングより外してください。



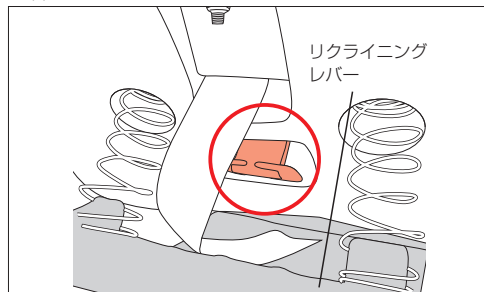
⑨シートのリクライニングを一番倒した状態【4】に調節してください(P11 参照)。



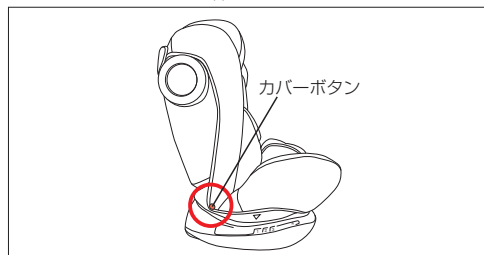
⑩バックル連結金具を縦にしてバックルが通っている穴に通し、座面よりバックルを抜いてください。



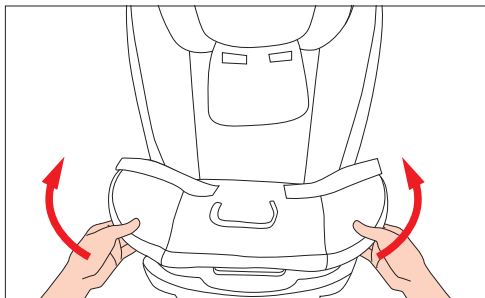
⑪リクライニングレバーの上部にあるバックル連結金具の位置を確認してください。



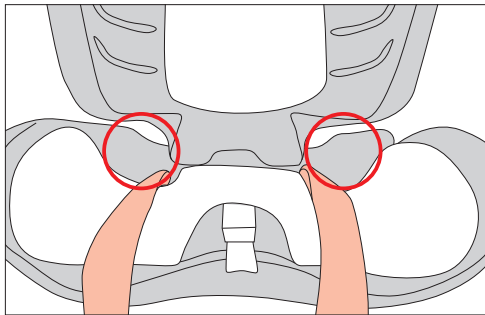
⑫シートのリクライニングを一番起こした状態【1】にして、本体側面にあるシートカバーボタンを外してください。
※リクライニングシール上部にあります。



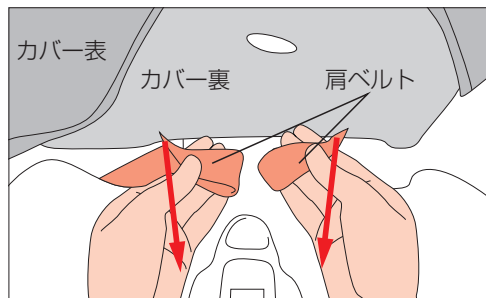
⑬本体カバーを前側から、めくってください。



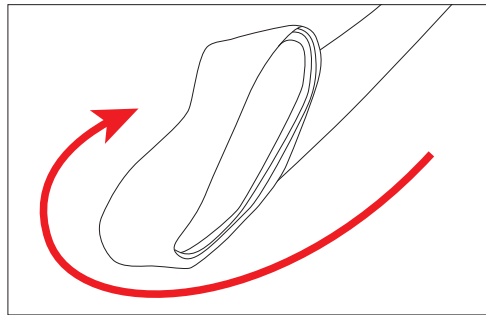
⑮座面奥の肩ベルト収納ポケットの位置を確認してください。



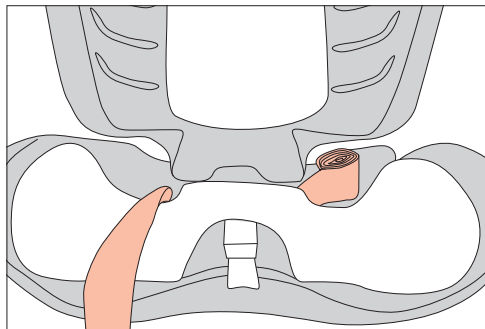
⑭肩ベルトをカバー穴から抜いてください。



⑯肩ベルトを巻いてください。



⑰巻き終わったら、肩ベルト収納ポケットへ収納してください。



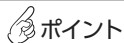
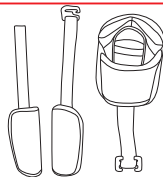
⑱収納後は、本体カバーを元に戻して側面のシートカバーボタンを留めてください。



⚠ 注意

取外した肩ベルトパッド・バックル・股あてパッドは無くさないようお手元で大切に保管してください。

車内に転がって運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ポイント

バックル連結金具を縦にする作業 (⑪の作業) がやりにくい場合は、バックル連結金具を下に引っ張ると、金具操作の稼動域が広くなり作業しやすくなります。

取付け方法



ポイント 肩ベルトを戻す際は、ヘッドレストの高さを1～3段目で調節してください。



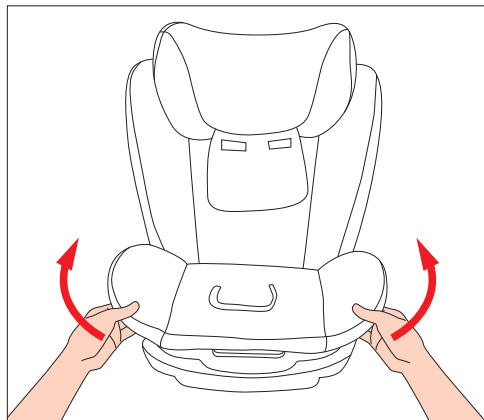
動画で解説

肩ベルト・
バックルの
取付け方法

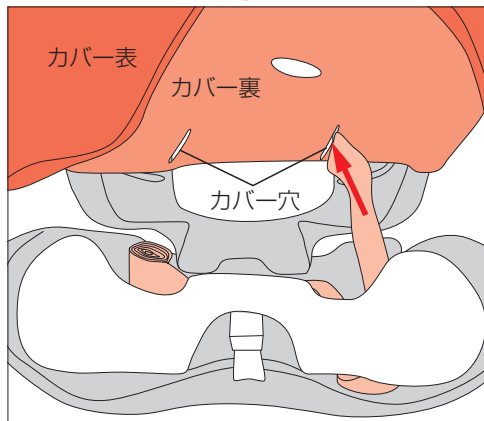
① 本体側面にあるシートカバーボタンを外してください。※リクライニングシール上部にあります。



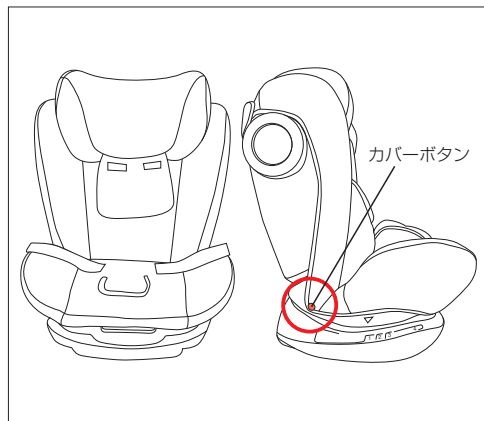
② 本体カバーを前側から、めくってください。



- ③左右の肩ベルトをカバー穴に通してください。
※ベルトがねじれないよう、注意してください。



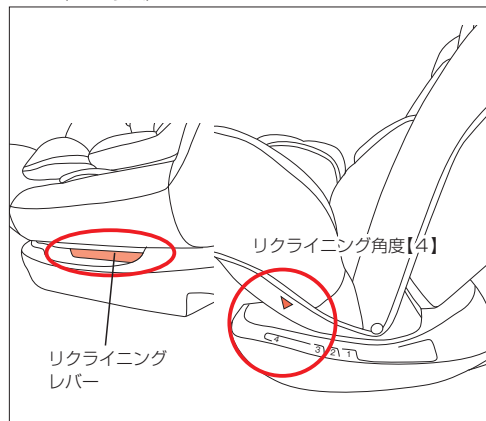
- ④本体カバーを元に戻して、側面のシートカバーボタンを留めてください。



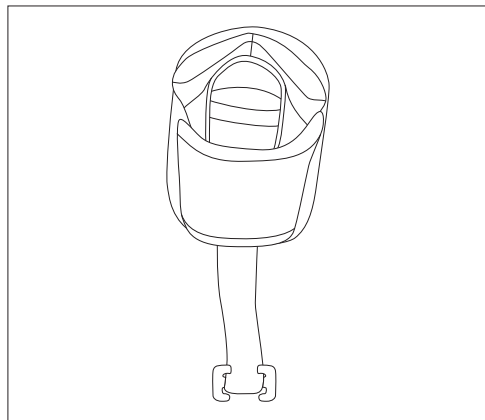
警告

肩ベルトを通す際は、ベルトにねじれがないかを確認してください。

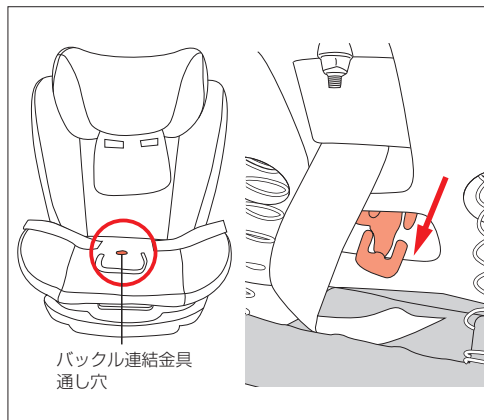
⑤シートのリクライニングを一番倒した状態【4】に調節してください(P15 参照)。



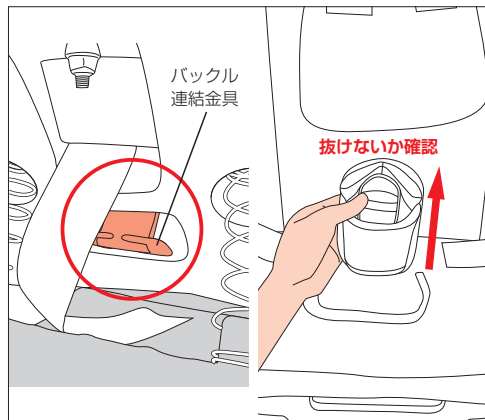
⑥バックルと股あてパッドを準備してください。



⑦バックル連結金具を座面穴より通してください。※通す際連結金具は縦向きにしてください。



⑧バックル連結金具を横向きにしてバックルが抜けない事を確認してください。



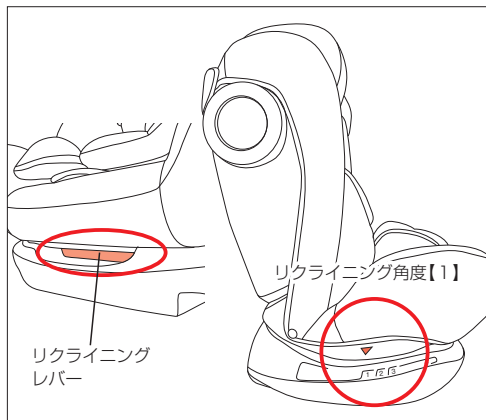
ポイント バックル連結金具を縦にする作業 (⑦の作業) がやりにくい場合は、バックル連結金具を下に引っ張ると、金具操作の稼動域が広くなり作業がしやすくなります。



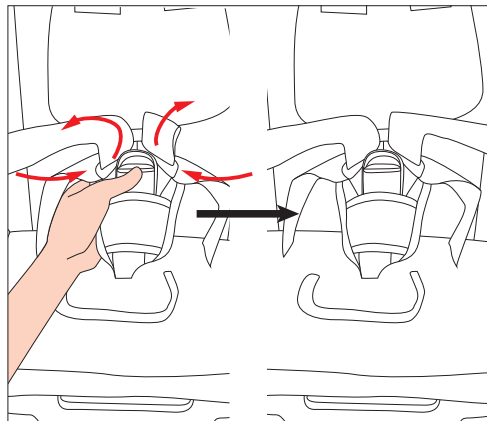
警告

バックルが抜けないことを必ず確認してください。

⑨シートのリクライニングを一番起こした状態【1】に調節してください。



⑩左右の肩ベルトをバックルタングの背面から前側に通してください。



警告

肩ベルトを通す際は、ベルトにねじれがないかを確認してください。



ポイント 肩ベルトパッド連結金具(小)は正面から向かって右側にしてください。

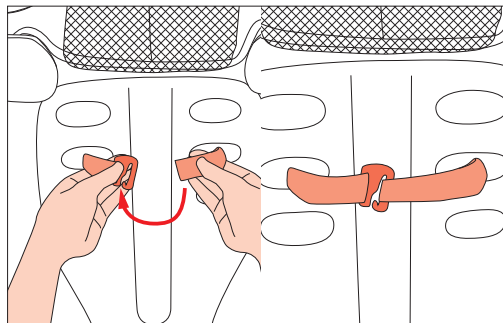
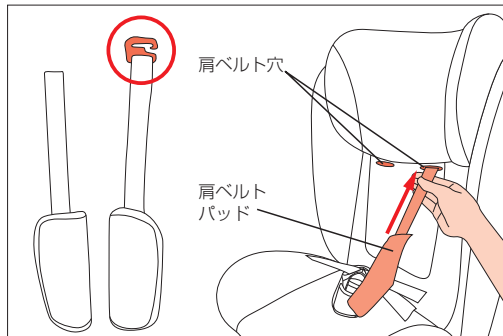
⑪左右の肩ベルトパッドを、本体の肩ベルト穴へ前側から背面側に通してください。



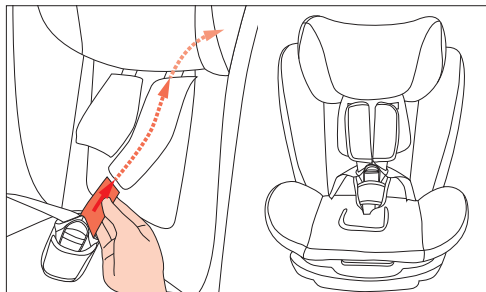
警告

連結金具が外れないことを必ず確認してください。

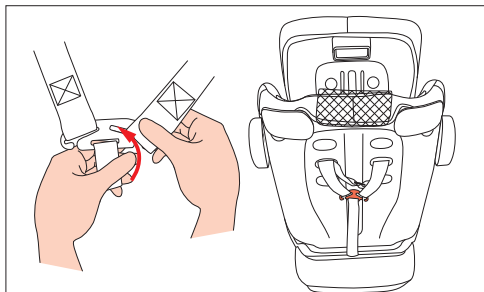
⑫連結金具(小)を引っかけるようにして留めてください。



⑬左右の肩ベルトを肩ベルトパッド→本体の肩ベルト穴の順に前側から背面側に通してください。



⑭左右の肩ベルトを連結金具(大)に引っかけるようにして留めてください。



警告

- 肩ベルトを通す際は、ベルトがねじれないよう注意してください。
- 連結金具が外れないことを必ず確認してください。

正しく装着できているか確認

- ☐ 本体側面のシートカバーボタンが留まっていること。
- ☐ 肩ベルトにねじれがないこと。
- ☐ 肩ベルトパッドにねじれがないこと。
- ☐ バックルが抜けないこと。
- ☐ 連結金具(小)より、肩ベルトパッドが外れていないこと。
- ☐ 連結金具(大)より、肩ベルトが外れていないこと。

ジュニアシートモード(進行方向前向き)の使用方法



警告

必ず車両の3点式シートベルトでお子さまを固定してください。

使用条件

- お子さまの体重が15kg以上であること。



警告

- 本製品は、必ず車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
※お子さまを乗せた状態で、車に取付けないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。



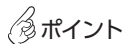
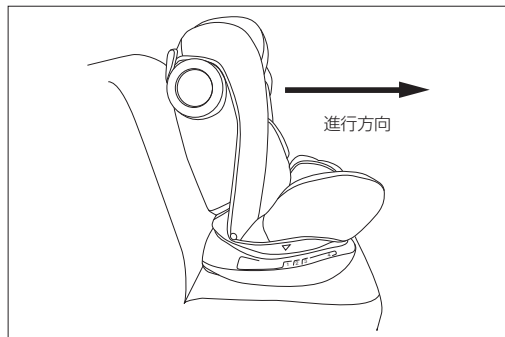
ポイント

ジュニアシートモードでは、本製品の肩ベルト・腰ベルトは使用せず車両のシートベルトにてお子さまを直接拘束します。

お子さまを乗せる前の準備

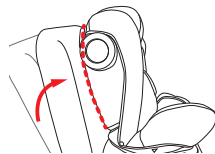
- ☐ シートの角度は【1】【2】【3】にてご調節してください(P15 参照)。
- ☐ 本製品の肩ベルト・腰ベルト・バックルを取外してください(P63 参照)。

①チャイルドシートを車両進行方向に対して前向きに置いてください。



ポイント

車両シートとチャイルドシート本体が接するように車両シートのリクライニング調節してください。



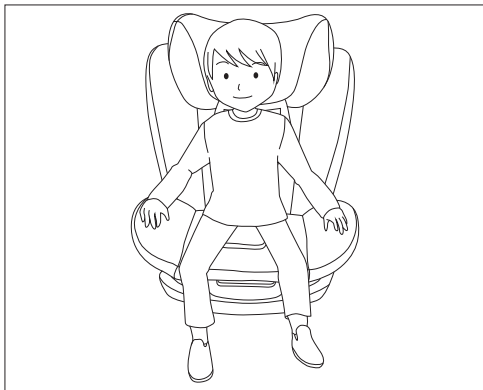
■ お子さまの乗せかた



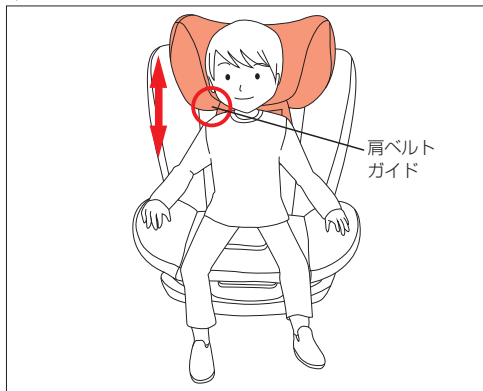
動画で解説

ジュニアシートモード
お子さまの乗せかた

① お子さまを深く座らせてください。



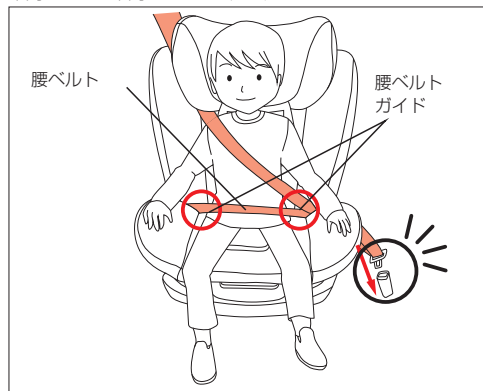
② お子さまの肩の高さにあわせて、肩ベルトガイドの位置を調節してください。



③車両シートベルト（肩ベルト）を車両バックルと反対側の肩ベルトガイドに通してください。



④車両シートベルトを腰ベルトガイドの上を通して、車両タングを車両バックルに差し込んでください。

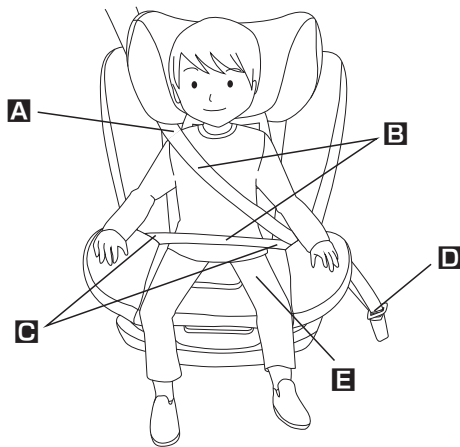


警告

- ・お子さまが成長し、肩ベルトガイドの位置よりお子さまの肩が高くなった場合は体重が適応範囲ないでも、本製品の使用を中止してください。
- ・走行中や、ヘッドレストの高さ調節の際は、お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを確認してください。
- ・車両シートベルトにねじれがないことを確認してください。
- ・お子さまの腕は必ず、車両シートベルトの上に出してください。
- ・車両シートベルトは、必ず肩ベルトガイドの中を通してください。

走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** ヘッドレスト、車両シートベルトの高さが正しい位置で調節され、車両シートベルトが、肩ベルトガイドの中を通っていること。
- ☐ **B** 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- ☐ **C** 車両シートベルト(腰ベルト)が、左右の腰ベルトガイドを通っていること。
- ☐ **D** 車両シートベルトが車両バックルに確実に差し込まれていること。
- ☐ **E** お子さまが正しい位置で座っていること。

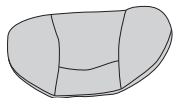


警告

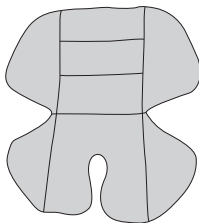
- ・お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを、必ず確認してください。
- ・お子さまが成長し、肩ベルトガイドの位置より高くなった場合は、体重が適応範囲内でも、本製品の使用を中止してください。
- ・お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。

インナークッションのお手入れ

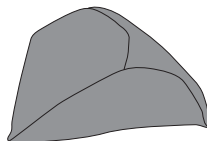
各部の名称



●ヘッドレストクッション
※裏面に取付けゴムあり



●インナークッション



●ソフトパッド



ポイント インナークッションの取外しは P31 をご確認ください。



注意

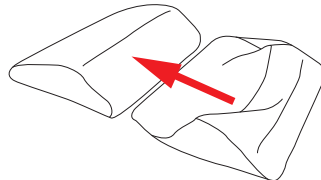
ソフトパッドは洗濯出来ませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。



警告

ソフトパッドは、必ず正しい向きで使用してください。
向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

※ソフトパッドはカバーより
取り出すことができます。



洗濯方法

ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず手洗いしてください。
洗濯後は、乾いた布等で拭き取ってから日陰で平干ししてください。

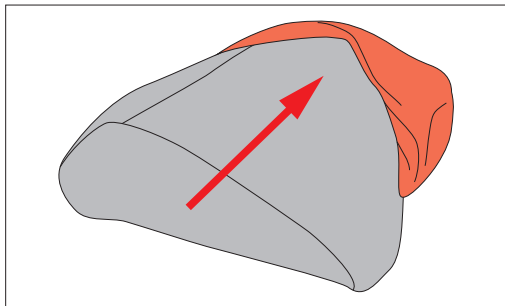


注意

洗濯機は使用しないでください。
※カバーが縮む原因となります。

ソフトパッドカバーの取付け方法

平らな面を下にしてください。
カバー取り出し口が上部にくる状態でカバーに戻してください。



シートカバー

シートカバーを外す前の準備

- ☐ ヘッドレストクッション・インナークッションを外してください(P30 参照)。
- ☐ 肩ベルト・肩ベルトパッド・バックルを外してください(P63 参照)。

取外し方法

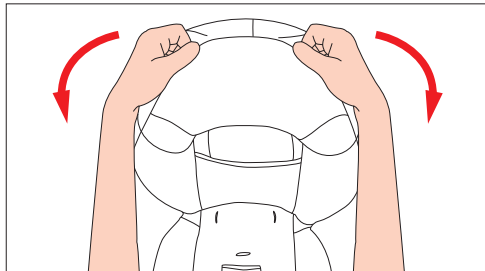
- ☐ ヘッドレストカバー

 **ポイント** 上記の準備ができましたら、ヘッドレストを2段目又は3段目の位置に調節してください。

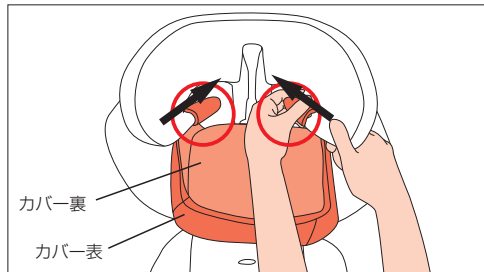


 動画で解説
シートカバーの
取外し方法

①ヘッドレストカバーの上部から前側にめくるようにシートを取外してください。



②左右の肩ベルトガイドのカバーを取外してください。

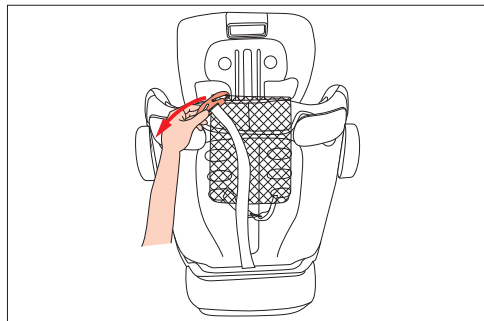


□ 本体カバー

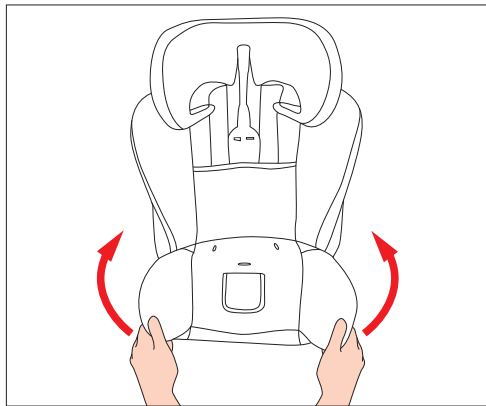
①側面の左右シートカバーボタンを外してください。※リクライニングシール上部にあります。



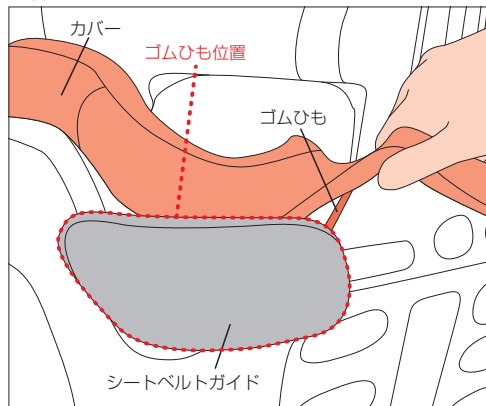
②背面の収納ポケットより、肩ベルト連結金具を外してください。



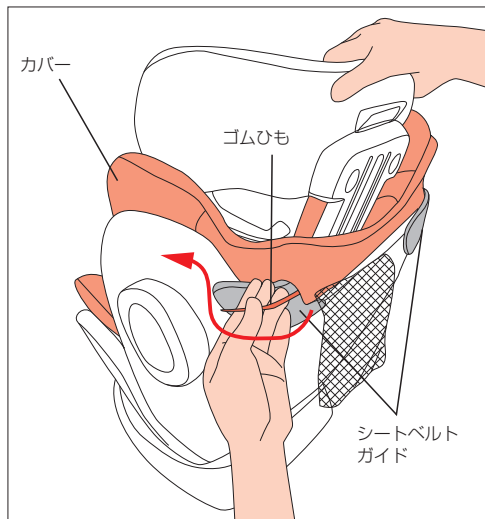
③下部の本体カバーを持ち、上に持ち上げるようにして外してください。



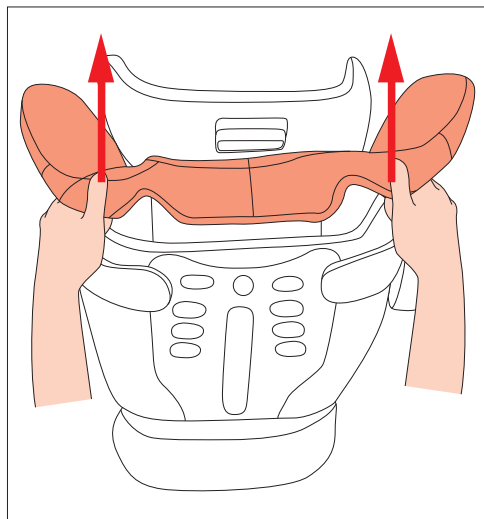
④背面の左右のシートベルトガイドに引っ掛けているゴムひもを確認してください。



⑤シートベルトガイドのゴムひもを左右ともに外してください。



⑥本体カバーを上にもむかって外してください。



注意

ゴムひもを外す際は、ゴムが切れないよう注意してください。

■ 取付け方法

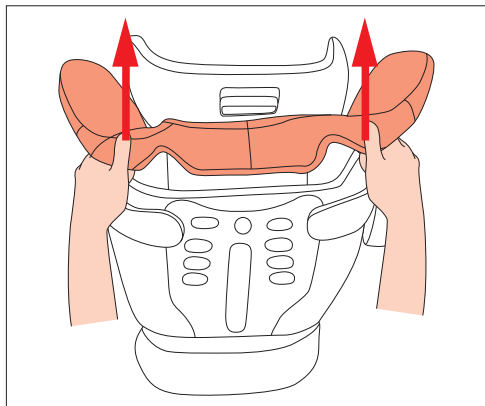
☐ 本体カバー

 **ポイント** ヘッドレストを2段目又は3段目の位置に調節してください。

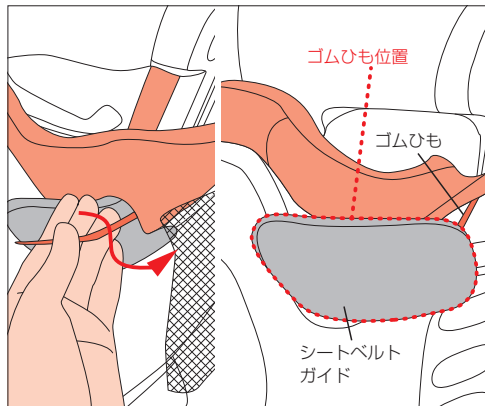


 動画で解説
シートカバーの
取付け方法

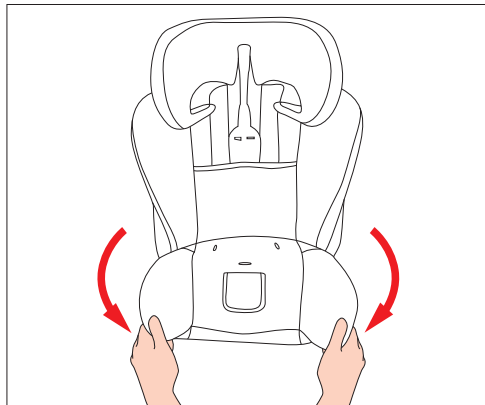
①本体カバーを上から被せてください。



②左右のゴムひもをシートベルトガイドに通してください。



③本体カバーを座面部分に被せてください。



④側面の左右シートカバーのボタンを留めてください。



注意

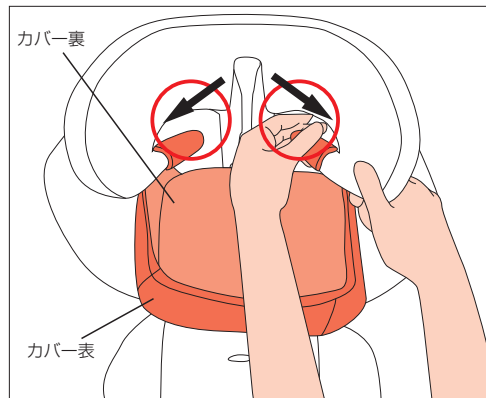
ゴムひもを付ける際は、ゴムが切れないよう注意してください。

□ ヘッドレストカバー

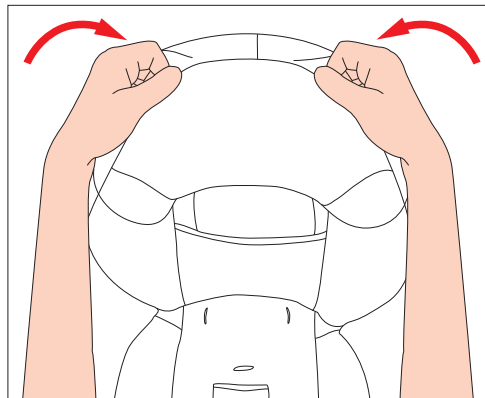


ポイント ヘッドレストを2段目又は3段目の位置に調節してください。

①左右の肩ベルトガイドにカバーを取付けてください。



②カバーをヘッドレストに被せるように取付けてください。

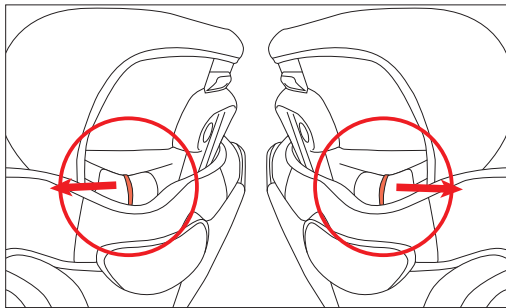


注意

ゴムひもを付ける際は、ゴムが切れないよう注意してください。

□ ヘッドレストクッション

 **ポイント** ヘッドレストを一番高い位置に調節してください。



①左右の肩ベルトガイドにカバーを取付けてください。



注意

ゴムひもを付ける際は、ゴムが切れないよう注意してください。

ヘッドレストカバー・本体カバーのお手入れ

 **ポイント** ヘッドレストクッション・インナークッション・ソフトパッドのお手入れ方法は P48 をご確認ください。

ヘッドレストカバー・本体カバーの洗濯方法

ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず手洗いしてください。
洗濯後は、乾いた布等で拭き取ってから、日陰で平干ししてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し



禁止

本製品のお手入れ時は洗濯機使用不可。※カバーが縮む原因となります。



警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤の使用は絶対にしないでください。
本体やベルトを傷めるおそれがあり大変危険です。

■ 本体と肩ベルト・腰ベルトのお手入れ

固くしぼった布で水ぶきをしてください。

汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。

水ぶき後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。

■ バックルのお手入れ

バックルの中のゴミを掃除機で吸い取るか、エアダスター等で汚れやゴミを吹き飛ばしてください。

バックルタングは、固くしぼった布で水ぶきしてください。

※中性洗剤等は使用しないでください。



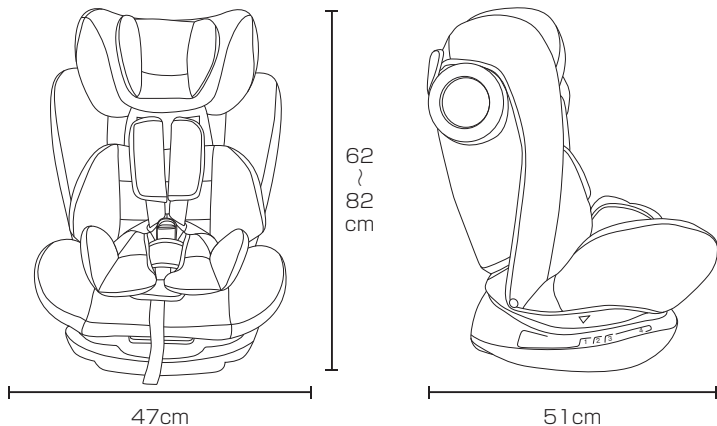
警告

- タングを差し込んだ際、抜けないか必ず確認をしてください。
- タングを差し込んで「カチッ」と音がしない場合は、絶対に使用せず当社までご連絡ください。

製品情報

本体サイズ

奥行き：51cm
幅：46cm
高さ：62～82cm



材質

本体シェル：プラスチック(PP/ポリプロピレン)

カバー生地：PE(ポリエステル)

ヘッド/ボディサポートクッション：PE(ポリエステル)

ランバーサポート(腰当て)：カバー=PE(ポリエステル)・中材=PU(ポリウレタン)

保管方法

- 安全で乾燥した場所に保管して、熱や直射日光をさけてください。
- お子さまの手の届かない場所に保管してください。
- 本製品の上に重いものを置かないでください。
- バックルタングはバックルに差し込んだ状態で保管してください。

廃棄方法

- お住まいの各自治体の規定に従い処分、破棄してください。
- 衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- 再利用による事故を防ぐため、破棄する際はシートカバーを外してから破棄してください。

取扱説明書の保管方法

本製品をご使用いただく前に、必ず本書をよく読み、十分に理解の上本体背面の収納ポケット(メッシュ)にて保管してください。



Neb:O

輸入販売元 株式会社中塚小児車工業所

〒670-0043 兵庫県姫路市小姓町 92

お問い合わせ TEL 079-298-2279 FAX 079-292-6026

受付時間 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00

(祝祭日を除く 月~金曜日)